

令和4年度スポーツ庁委託事業
誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業
(学校体育施設の有効活用推進事業)
報告書

みんなの学校づくり試行事業
～地域の力を呼び起こす多世代のスポーツ参加の場づくり～
「本太中学校のテニスコートと武道場の活用試行結果」

令和5年3月

NPO法人浦和スポーツクラブ

目 次

1. 事業の概要	1
1. 1 事業の目的	1
1. 2 事業内容	4
1. 3 事業実施経過	6
2. 本太中学校の概要	7
3. 学校施設活用の課題と本事業における対策	9
3. 1 活用上の課題の整理	9
3. 2 活用試行に向けた対策・方法の検討	10
4. テニスコートの活用試行結果	24
4. 1 試行状況	24
4. 2 評価	26
5. 武道場の活用試行結果	29
5. 1 試行状況	29
5. 2 評価	31
6. 利活用の促進にむけた検討	35
6. 1 課題整理	35
6. 2 促進策の提案	38
7. まとめ	40

(資料) アンケート結果

1. テニスコート利用者アンケート結果	1
2. 武道場利用者アンケート結果	8
3. 地域の方からのご意見	13
4. 保護者の方からのご意見	16
5. コーチ・インストラクターからのご意見	18

1. 事業の概要

1. 1 事業の目的

(1) 事業の背景

浦和スポーツクラブ（以下、「ウラスポ」とする）は、1991年9月に発足し、欧州型の地域スポーツクラブを目指し、当初はサッカーを中心に活動を展開し、U15（中学生年代）、U18（高校生年代）及び社会人の選手コースと生涯コースを運営し、年代や志向に応じてスポーツを続けられ場の創出を目指して活動してきました。

—地域スポーツ環境の構築にむけて—

2004年度には、テニスやフィットネスなどで多年代のプログラムを開始し、この活動の将来像として2005年度には「北浦和東部地域スポーツクラブとまちづくり」を、関係者に提案しました。

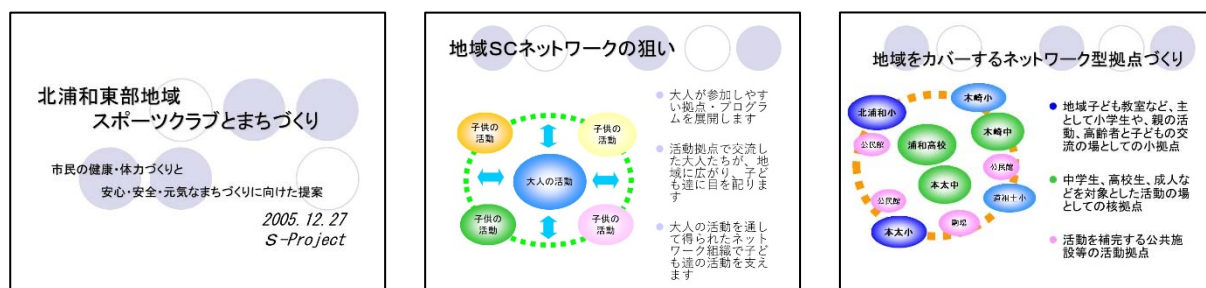


図 1.1 「北浦和東部地域スポーツクラブとまちづくり」提案資料抜粋

この提案をもとに、埼玉県と県立浦和高校と協議を進め、2007年度から土曜日・日曜日の夜間の浦和高校のグラウンドと体育館を浦和スポーツクラブが一元管理し「星空スポーツ広場」を開催しています。ここでは、サッカー、バドミントン、卓球（現在は卓球は休止）の3種目を展開し、地域住民が気軽にスポーツを楽しめる場を運営し、現在も継続しています。

—本太中学校との関係—

2012年からシニア健康教室を本太中学校の余裕教室や武道場等で開催しています。これは、貯筋運動を中心とした教室の場として、自治会役員の方々と相談し学校長に相談して実現したもので、平日の授業時間中に実施してきました。

前述の星空スポーツ広場には、本太中学のバドミントン部や卓球部の生徒も多数参加していたことから、中学生のスポーツ環境にも関心を持つようになりました。

このような中、2011年～2015年には、文部科学省・スポーツ庁の各種委託事業により、トップアスリートの中学校部活動への派遣を行う中で、本太中学校と連携する機会が増えました。また、この時期に、近隣の中学校の部活動に関する実態調査を実施するとともに、スポーツ障害などの防止にむけた活動支援について検討する機会などを持ちました。

2018年度には、早稲田大学の広瀬統一教授との共同実践研究として本太中学校へのアスレチックトレーナーの派遣と「もっちゅうアップ」（短時間で効果的なウォーミングアップを行うためのプログラム）を生徒に指導する機会を持つことができました。

これを踏まえて 2019 年～2020 年にはスポーツ庁部活動改革プランを受託し、本太中学校においてチャレンジクラブとアスレチックトレーナー派遣を実施し、部活動への地域指導者や専門家の参画に取り組んできました。

—課題認識—

このように学校と連携した様々な活動が続ける中、地域住民が学校の施設活用を図る上で、次のような点について課題意識を持つようになりました。

① 授業時間中の空き施設の活用

これまでの学校施設開放は、夜間や週末が主となっていることから、利用できる住民にも限られています。ウラスポの活動をとおして、地域のシニア層の多くは平日の午前中にスポーツ活動を行っていますが、施設数は限ら得ていることから活動場所の確保に苦労しています。

授業時間中でも利用頻度の少ない学校施設を活用することで、このような課題の解決に寄与することが期待できます。

② スポーツ施設の利用環境の改善

学校施設開放などでしばしば課題となるのが、トイレや更衣室などの利用環境の水準の低さです。また、近年は徐々に改善が図られてきていますが、冷暖房など空調設備についても学校施設では十分に行き渡っているわけではありません。

もっと快適な環境を整備することで、シニア層や女性の参加のハードルを低くすることが期待できます。

また、学校は、災害時の避難拠点として利用されることも多いことから、これらの施設・設備の充実は防災上も有効になると考えられます。

③ 仕組みづくりについて

このように、学校と連携した活動に 10 年以上取り組んできましたが、学校側には人事異動があるために、取り組みの継続しづらさを感じてきました。

また、何か新しい取り組みを始める際に、学校側の負担がかかることで、取り組みを進めづらいということも感じています。

教職員の働き方改革が必要とされる中、学校側に新たな負担を生じさせずに、新たな取り組みを進めるためには、このような学校施設利用に適した新たな仕組みづくりを定着していくことが大切であると考えています。

（２）事業の目的

地域部活動移行の受け皿整備を見据え、地域住民や地域のスポーツ団体による学校施設の利活用の促進にむけた課題を確認するとともに、これとあわせて学校、地域住民、クラブ、行政機関の連携を高めるために、授業で用いることが少ない施設を地域スポーツ団体が担い地域住民の利用促進のためのプログラム提供等を試行するものです。

試行対象とする本太中学校の武道場とテニスコートの状況は以下のとおりです。

・武道場について

前述のシニア健康体操は、当初余裕教室で開催してきましたが、近年になり、余裕教室が不足し武道場を利用することになりましたが、空調機器がないため、夏季・冬季には、健康づくりのための運動プログラムの実施には不向きな環境となり、近隣にある市営の体育館や公民館等で代替の場の確保に努めていますが、これらの施設は利用率が高く、確保が困難な状況にありました。

・テニスコートについて

ウラスポでは大人向けのテニス教室も開催していますが、浦和区および周辺地域は公共テニスコートが不足がちであり、市営コートも市立中高一貫校の施設拡大により一般利用可能面が減少しています。

また、2004年から近隣4小学校でキッズテニス教室を開催してきましたが、卒業した子ども達は本太中でテニスを続ける子も少なくないことから、その活動を応援するためにも、テニス部との連携を実現したいと考えていました。

本太中学校テニスコートは、校舎や校庭から道路を挟んで離れた区画にあり、日中は利用されていないことから、ここを利用して地域のテニス愛好家が活動することで、テニス部を応援する関係などもつくれるのではないかと考えていました。

1. 2 事業内容

本事業は、以下の取組みにより構成されます。

- (1) 全体調整
- (2) 広報
- (3) 武道場の活用
- (4) テニスコートの活用
- (5) 利用者・関係者へのアンケート調査等による評価検討

(1) 全体調整

関係者による会議を設置し、本事業について協議を行いました。

① メンバー

本太中学校 校長、教頭

さいたま市 教育委員会教育政策課・学校施設管理課・指導1課
スポーツ振興課

地域 P T A会長、コミュニティ協議会会長

その他 (公財)さいたま市スポーツ協会
浦和スポーツクラブ

② 開催状況

下表に示すとおり全体会議を開催しました。

表 1.1 全体会議開催状況

回	開催日	内容
第1回	7 / 6	事業計画について 事業実施上の留意事項の確認
第2回	2 / 24	事業の実施結果報告 学校、市教育委員会、市スポーツ振興課の意見

このほか、学校とクラブの間では、月に1~2度程度、連絡・調整を行いました。

(2) 広報

施設利用者を募るとともに、本事業の目的を広く知らせるために、広報誌を作成し、全校生徒および本太中学校周辺の約20,000世帯にポスティング配布を行いました。

(3) 武道場の活用

10月中旬から2月17日までの平日の授業時間中に、武道場を活用し、各種フィットネスプログラムの教室を開催しました。

(4) テニスコートの活用

10月中旬から2月17日までの平日の午前中に、テニスコート2面を活用し、1面は面貸し、1面はレッスンを開催しました。

(5) 利用者・関係者へのアンケート調査等による評価検討

検討会における意見交換の他、以下のアンケートを実施し事業への評価を検討しました。

表 1.2 評価対象と方法

対象	方法
テニスコート利用者	WEBにアンケートサイトを設け、全利用者に調査協力を求めました。
武道場利用者	同上
P T A	WEB上にアンケートサイトを設け、全校生徒に配布した保護者用の広報誌において回答への協力をお願いしました。
地域住民	WEB上にアンケートサイトを設け、地域にポスティング配布した広報誌において回答を募りました。

1. 3 事業実施経過

主な事業の実施経過について下表に示します。

表 1.3 事業実施経過

	実施状況
6 月	・ 契約締結 ・ スポーツ庁との打ち合わせ ・ クラブ理事会にて事業について協議
7 月	・ 第 1 回全体会議 ・ 領家 1 丁目自治会長、駒場 1 丁目自治会長に説明 感染症拡大防止にむけて事業開始時期を延期
8 月	・ 武道場やテニスコートの具体的な利用方法の検討 ・ 学校、顧問等との調整
9 月	・ 武道場控室の行政財産目的外使用許可申請手続き ・ 武道場の 10 月予定確認～指導者等の手配
10 月	・ 感染症の状況も考慮し事業開始を判断 ・ 広報誌 1 号の作成・配布（学内および地域） ・ テニスコート、武道場の利用開始
11 月	・ 武道場とテニスコートの貸し出し継続
12 月	・ 広報誌 2 号の作成・配布（学内および地域） ・ スポーツ庁中間報告会 ・ 武道場とテニスコートの貸し出し実施
1 月	・ 武道場とテニスコートの貸し出し実施 ・ 広報誌 3 号の作成・配布（学内および地域）
2 月	・ 武道場とテニスコートの貸出期間終了 ・ スポーツ庁オープンセミナーで報告 ・ 第 2 回全体会議 ・ 広報誌 4 号の作成・配布（学内および地域）
3 月	・ 事業の終了（報告書提出）

(1) 位置

学校の位置する浦和区は、人口：16 万 7 千人、人口密度：1.4 万人/km²、高齢化率 20.0%、5 年間人口増加率 6.7%と、古くから発達した宿場町でありながら、近年でも集合住宅（マンション）や戸建ての建設が続き、人口流入が続く住宅地です。



図 2.1 本太中学校の位置

生徒数 約 700 名

創立 1948 年

現在の校舎：1974年 築48年

體育館：1973 年 築 49 年

（３）施設配置

本太中学校の施設配置は、下図のとおりです。

東側は県道 34 号線（通称：産業道路）に接しています。

西側に整備された緑道は、多くの歩行者（ウォーキングなど）がいますが、自動車の通行はできないようになっています。

テニスコートは、授業の行われる校舎や校庭から市道を挟んだ場所にあります。

この市道の自動車の通行はほとんどありません。

本事業では、武道場とテニスコートの活用を試行します。



図 2.2 本太中学校の施設配置図

3. 学校施設活用の課題と本事業における対策

3. 1 活用上の課題の整理

本事業では、全体検討会における学校側の懸念事項等の意見も踏まえて、検討・確認していくべき課題を次のように整理しました。

表 3.1 主な課題

課題	内容
学校側に新たな負担を生じさせない	学校側に受付や問合せ、利用者調整などの業務が生じないようにすることが求められます。
教職員や生徒に迷惑とならないようにする	授業やそのほか種々の学内での活動に影響を与えないようにすることが求められます。
近隣に迷惑をかけない	騒音や路上駐車・駐輪などで近隣住民に迷惑をかけないようにしないといけません
利用環境の改善	冬期間にも利用できるように暖房機能の確保が必要です。
一部の人の利用とならないようにする	地域の住民に広く周知し、利用してもらうことが求められます。
教職員、P T A、生徒の理解醸成	事業の目的や、浦和スポーツクラブが実施している理由などについて教職員、P T A、生徒の皆さんに理解いただく必要があります。
市民の理解醸成	同様に、市民、特に近隣住民の皆さんに、理解をいただく必要があります。

3. 2 活用試行に向けた対策・方法の検討

整理した課題についてそれぞれ次のような方法で対応することとしました。

表 3.2 課題と対策

課題	対策・方法
学校側に新たな負担を生じさせない	WEB上の予約機能付きのスケジュールサイトを開設しました。 テニスコート、武道場とも利用時間中は、クラブのスタッフが立ち会うこととしました。
教職員や生徒に迷惑とならないようにする	車での来校禁止、駐輪場所の分離、生徒の休み時間と利用者の出入りが重ならないような時間設定などを試みました。
近隣に迷惑をかけない	複数面あるテニスコートから、往来の激しい県道に近い面を利用することとしました。
利用環境の改善	武道場に暖房器具を設置しました。 テニスコートに凍結防止剤を散布しました。
一部の団体だけの利用とならないようにする	広報誌とSNS等を用いて、予約方法やスケジュール確認の方法について広報に努めました。
教職員、PTA、生徒の理解醸成	広報誌に事業の主旨や内容、背景などについて説明する資料を作成し、学内の全校生徒に配布しました。 検討会にPTAからも参加いただきました。
市民の理解醸成	上記のとおり事業主旨や背景などの説明を記載した広報誌を周辺約20000世帯にポスティング配布しました。

(1) WEB上へのスケジュール・予約サイトの開設

本事業では、利用者の利便性を確保しながら、学校にも問合せ等の負担が生じないようにWEBによるスケジュール表示と予約システムの導入を図りました。

このためのクラブホームページの改修を行いました。利用方法を試行錯誤する中でシステムを構築するのはリスクがあるため、当初は店舗等で広く用いられている汎用のシステムを利用することとし、その利用勝手を確認しながら、改修を進めました。

① 市販の予約システムの利用

店舗予約などで利用されている市販の予約システムを比較検討し、R社のシステムを利用することとしました。

The figure displays three screenshots of a web-based scheduling and reservation system. The top screenshot shows a calendar view for the period from February 11 to February 17, 2023. A red arrow points to a specific time slot (10:00-11:30) on February 13, which is labeled 'テニスレッスン' (Tennis Lesson). The bottom left screenshot shows the details for a 'テニスレッスン' (Tennis Lesson) on February 13, 2023, at 10:00-11:30. It includes information about the location (本校中学校 球技コート (埼玉県)) and a red arrow points to the '予約を進める' (Proceed with reservation) button. The bottom right screenshot shows the reservation form, which includes fields for '氏名' (Name), '氏名 (カナ)' (Name in Kana), 'メールアドレス' (Email Address), 'メールアドレス (確認)' (Email Address Confirmation), '電話番号' (Phone Number), and a '連絡事項' (Remarks) field. A red arrow points to the '確認する' (Confirm) button.

図 3.1 スケジュールの公開と予約に用いたシステム画面

② クラブHPへのシステムの組み込み

市販の予約システムは、概ね2～3万円／月の利用料がかかることから、コスト面で課題があることがわかりました。

また、無料プランや低額のプランでは、予約件数の制限値が低く、実用性がないこともわかりました。

そこで、予約システムを持続できるよう、汎用のプログラムを用いた予約システムをクラブホームページに組み込みました。



図 3.2 クラブHPに組み込んだ予約システム画面

（２）駐輪場やテニスコートの利用位置

①テニスコートの利用位置

テニスコートの配置を下図に示します。

図の右下側が自動車交通量の多い県道です。また、左側は道路をはさんで住宅が近接していますが、冬季の砂塵の飛散防止のために遮音効果も期待できる鋼製の板状のフェンスが整備されています。

一方、図上側の住宅側（道路をはさんでいる）のフェンスは、ネットフェンスで防音効果は期待できません。

近隣への騒音や人目への配慮などから県道側の２面を利用することとしました。

②臨時駐輪場

校舎のある敷地側には、既存の駐輪場がありますが、駐車台数は多くありません。

教職員や来校されるPTAの方々が利用されることから、テニスコートや武道場の利用者の自転車駐輪場は、図に示す位置に設けることとしました。



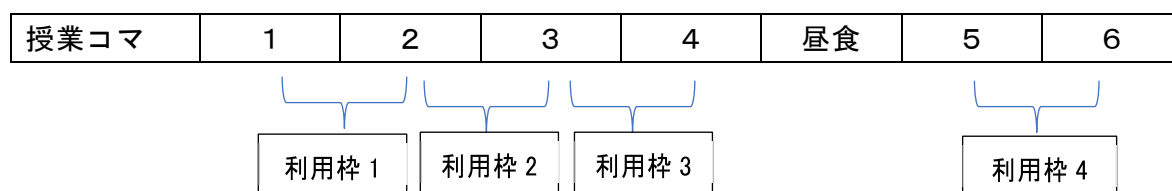
図 3.3 テニスコート利用面と臨時駐輪場位置

(3) 利用時間の調整

武道場を授業等で利用する生徒と、本事業の利用者の出入りが重なることが無いようにしたいという学校側の要望に基づき、利用枠を設定しました。

授業のコマとして2時限続けて武道場を利用しない場合に、2時限をまたぐように本事業による利用枠を設定しました。

利用月の前月の中旬から下旬にかけて、本太中学校の教頭職が、教員から利用予定の状況を聞き取り、整理をしてクラブ側に伝達、その後、クラブが利用枠を整理して、指導者の手配、スケジュールの公表という手順で進めました。



下図に利用枠の調整に用いた表を示します。武道場の1～6の列で「浦」と記入されたところが、学校から利用可能とされた「時限」で、これをもとに、利用枠を設定します。

令和4年度		12月											
日	曜	行事予定	武道場						武道場枠				
			1	2	3	4	5	6	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	14:00～15:00	
1	木	期末テスト(1, 2年) テスト日課	×	×	浦	浦	浦	浦			篠原 ソフトウェアロ		
2	金	期末テスト(1, 2年) テスト日課 薬物乱用防止教室	浦	浦	×	×	浦	×					
3	土												
4	日	北(7)											
5	月		×	×	×	×	浦	×					
6	火		×	×	×	×	浦	浦				伴 フィットネスフラ	
7	水	45×6	×	×	×	×	×	×					
8	木	歯科健診(全学年:9:00～)	×	×	×	×	浦	浦				吉本 ゆとりとうるおいのヨガ	
9	金	①②⑤⑥③④ 新入生保護者説明会	×	×	×	×	×	×					
10	土	大湯祭											
11	日												
12	月	十二日まち	×	×	×	×	浦	×					
13	火	木①～⑥ ⑤授業参観 ⑥保護者会(2年)	×	×	×	×	浦	浦				栗原 ヨガで心と身体をリフレッシュ	
14	水	①②⑤⑥③④	×	×	浦	浦	浦	浦					
15	木	火①～⑥ 歯科健診(全学年:9:00～) PTA(本部・運営)	×	×	×	×	浦	浦				篠原 ソフトウェアロ	
16	金	⑤授業参観 ⑥保護者会(1年)	×	×	×	×	浦	浦				金木 やさしいヨガと呼吸法	

図 3.4 武道場スケジュール調整例

（４）武道場への暖房器具の設置

武道場が利用しづらい原因の一つとして、以前から指摘のある温度管理の課題に対応するため、本事業では大型石油ストーブをレンタルにて導入しました。

エアコンのレンタルを検討しましたが、教育委員会との協議の結果、仮設であっても建物の加工（穴明けなど）は望ましくないとの判断がありました。

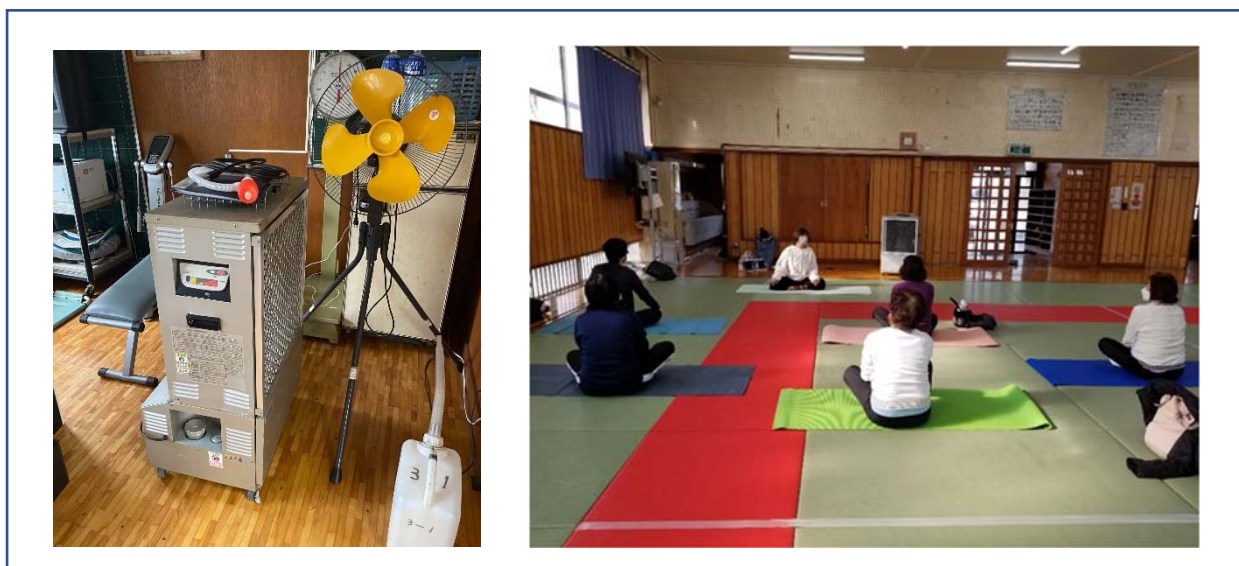


図 3.5 レンタルした石油ストーブと利用状況

（５）広報誌の作成と配布

事業主旨の理解醸成と参加者募集のために、全校生徒および地域に広報誌を配布しました。配布した１～４号の概要は下表に示すとおりです。

次ページ以後に縮刷版を掲載します（配布物はＡ３）

表 3.3 広報誌の発行状況

	時期	内容
１号	１０月	・スポーツ庁事業実施のお知らせ ・国内のスポーツ施設の整備状況(学校に６割があることを紹介) ・テニスコートと武道場の利用方法、スケジュールの紹介
２号	１１月	・テニスコートと武道場の利用方法、スケジュールの紹介 ・さいたま市内の学校開放の状況 ・市内公共スポーツ施設の利用状況 ・国内の学校施設活用事例の紹介
３号	１月	・テニスコートと武道場の利用方法、スケジュールの紹介 ・アンケート回答のお願い（事業への評価） ・部活動改革の方向性と学校施設の活用について
４号	２月	・結果報告

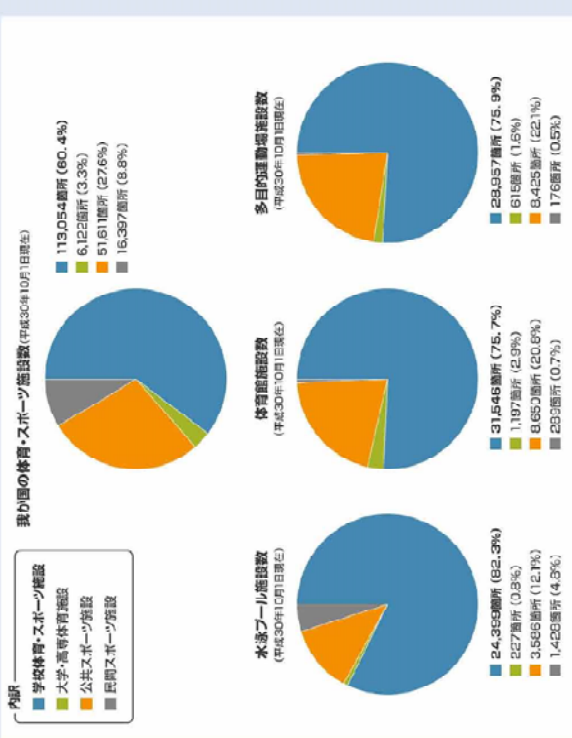
■地域の皆様

このたび、本太中学校において、令和4年度スポーツ庁委託事業「誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業」を実施することとなりました。

みなさんは、「運動やスポーツをしたいけど場所がない」と困ったことはありませんか？

欧米に比べてスポーツ施設が乏しいと言われる日本ですが、実は、スポーツ施設の数は決して少なくありません。欧米との違いは、日本では、スポーツ施設の約6割が学校にあることです。

学校を、誰もが気軽にスポーツに親しめる場にしていくために必要なることを調べることを目的とし、事業が行われます。本通信1号では、事業の主旨や予定についてご案内いたします。



スポーツ庁HP：<https://sports.go.jp/tag/equipment/6.html>

■事業の紹介

事業名：誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業（学校体育施設の有効活用推進事業）

期間：令和5年3月7日まで

目的：我が国のスポーツ施設の約6割を占める学校体育施設について、地域スポーツの場としての有効活用を推進するため、持続可能な仕組みのモデル事例を、実証実験を通じて構築することを目的とします。

以上のような目的で、スポーツ庁が審に公募を行いました。浦和スポーツクラブは、本太中学校、市教育委員会とも相談し、この事業に応募し採択されました（全国で4地域が採択されています）。

【提案の内容】

本太中学校の武道場とテニスコートを、授業時間中に活用することを提案しています。

◆テニスコート

本太中学校のテニスコートは、校舎やグラウンドからは、道を挟んだところにあります。現在、体育の授業ではテニスは行っていないです。

さいたま市内、特に日浦和地区は、公営のテニスコートが少なく、テニス愛好者の皆さんは、コートの確保に苦労が絶えないようです。市内では荒川の河川敷などに多くのテニスコートがありますが、移動にも時間がかかり口管的に楽しむには、やや難があります。

そこで、本太中学校のテニスコートを、部活動や授業に支障のない範囲でお借りして、地域で利用できるような仕組みを提案させていただきました。

◆修道館（武道場）

本太中学校には、正門から歩いてすぐの左側に武道場（修道館）があります。1階が量の柔道場、2階が板床の剣道場になっています。

修道館は、剣道部の活動や体育の武道の授業の他、雨天時には、その他の体育の授業や部活動でも利用されていますが、季節によっては空いている時間帯もあることから、浦和スポーツクラブでは、教員からシニア健康運動教室で使わせていただくことができました。

しかし、ここで問題となったのが、夏の暑さと冬の寒さです。

修道館には空調設備がないことから、特に、冬の寒さは厳しく、怪我の心配などもあり、利用をあきらめざるをえませんでした。

そこで、今回は、冷暖機や暖房器具を準備して、暑い夏でも寒い冬でも安心して利用できるかどうか、試行させていただきました。



【問合せ先】

本事業は、本太中学校とさいたま市教育委員会の協力を得て、浦和スポーツクラブが実施しているものです。事業に関するお問い合わせは、浦和スポーツクラブまでお願いします。

電話 048-887-7140 FAX 048-677-7598 メール：info@urawasc.org

テニスコートの利用について

【概要】

10月から、テニスコート2面をお借りして、試行事業に取組むこととなりました。
当面の使用方は、以下のとおりです。

- ◆利用日・時間：月曜～金曜日の10時～12時
- ◆A面：面貸し。1面2時間500円。（何人でも利用されても定額です）
- ◆B面：初～中級者レッスン。参加費1,000円/回・人。定員1人～8人
- ◆申し込み方法

右のQRコードから、専用予約サイトに入ってください。空き枠を確認の上、お申込みください。

◆参加費：現地でスタッフに直接お支払いください。

◆その他：貸しラケット・ボールの用意もありますのでスタッフにご相談ください

【ご注意ください】

- 駐車場はありません。お車での来校はお断りします。
- 自転車は、球技コート内のバスケットゴールのところに駐輪してください。道路上には停めないでください。
- ご近所に配慮し、プレイ中は大きな声などを出さないようお願いいたします。
- 更衣室などはありません。あらかじめご了承ください。
- 気象条件によってコートが利用できなくなることがあることをご理解の上ご利用ください。



【津和スポーツクラブの紹介】

- 1991年9月に設立し、今年で32年目を迎える市民クラブです。
- 2002年から駒場ナバグラムでサッカー広場を開始し、2004年からテニスやヨガなどのフィットネスプログラムを始めました。
- 浦和区東部地区を中心に、幼児～90代まで全ての年代の人が、自分に合わせたスポーツや運動ができる場をつくることを目指して活動してきました。
- 数年前から本太中学校の部活動支援にも取り組んでいます。本試行事業の参加費は、学校の施設改善など部活動支援に活用していきます。

【バドミントンプログラムの会員登録】

- 毎週木曜日 19時半～21時 本太中学校体育館で開催。月会費2200円

【バドミントン交流会のお誘い】

- 日時：10月29日（土）13時～17時
- 会場：駒場体育館
- 対象：小学生～大人まで
- 参加費：500円/人（小学生は無料）



修道館（武道場）の利用について

【概要】

- ▶ 武道場では、フィットネスプログラムを開催します。
- ▶ 今月予定は、下表のとおりですが、QRコードで専用サイトから確認できます（逐次更新していきます）。
- ▶ 参加費は1回500円です。現地でお支払いください。
- ▶ サイトから参加申し込みができます。当日、現地にお越しいただくこともできます。

【ご注意ください】

- 駐車場はありません。お車での来校はお断りします。
- 自転車でお越しの方は、球技コート内のバスケットゴールのところに駐輪してください。道路上には停めないでください。



修道館10～11月のプログラム予定表（詳しくはQRコードからご確認ください）

月	火	水	木	金	土	日
10/24 0930-1100 シニア健康教室 1430-1450 音楽を聴いて 楽しく筋トレ	25 1400-1450 フィットネス ダンス	26 1130-1220 エアロビクス 1400-1450 コアヨガ	27 なし	28 1400-1450 ゆとりとうるおい のヨガ	29	30
31	11/1 1400-1450 リフレッシュヨガ	2 1400-1450 コアヨガ	3 なし	4 調整中	5	6
0930-1100 シニア健康教室	8 1400-1450 リフレッシュヨガ	9 なし	10 調整中	11 1130-1220 エアロビクス 1400-1450 うるおいヨガ	12	13
11/14 なし	15 なし	16 1130-1220 エアロビクス	17 なし	18 なし	19	20
なし	22 1400-1450 リフレッシュヨガ	23 なし	24 1400-1450 ゆとりとうるおい のヨガ	25 1400-1450 ゆとりとうるおい のヨガ	26	27
28 1430-1450 美姿勢筋トレ	29 なし	30 1130-1220 エアロビクス	12/1 なし	2 なし	3	4

令和4年度スポーツ庁委託事業
 誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業
本太中学校みんなの学校づくり試行事業通信2号
 受託者：NPO法人浦和スポーツクラブ <https://urawasc.org/>
 浦和区領家4-5-6 電話 048-887-7140 info@urawasc.org

2022年11月

■本中のテニスコートを地域の皆さんに利用いただけます

現在、本中のテニスコートを、地域の方に利用していただく実験を行っています。

実験期間は、来年度の3月の初旬までの予定です。

利用方法は、次のとおりです。

◆利用日：祝祭日や冬休み期間を除く月曜～金曜日

(詳しくは、予約サイトで確認してください)

◆利用時間：10時～12時

◆利用面数：2面

◆利用方法：

A面：面貸し。1面2時間500円。(何人でも利用されても定額です)

B面：テニスコートによる初～中級者向けレッスン。

参加費1,000円/回・人。定員1人～8人

◆予約方法：

右のQRコードから、予約サイトに進み、申し込んでください。

◆その他：

*利用料金は現地でスタッフに直接お支払いください。

*貸しラケット、ボールの用意もありますので、コートにご相談ください。

*駐車場はありません。自動車で来られた方は、周辺のコインパーキングを利用してください。

*学校内には駐車は、絶対にしてはいけません。

*自転車は、テニスコートと同じ球技場の口のフェンス沿い(右図参照)に駐輪してください。

*天候により利用できない場合もありますので、予約サイトで確認してください。



自転車はフェンスの中に停めてください

こちらの2面が利用できます。

■武道場では、フィットネスプログラムに参加できます

テニスコートと同様に、武道場の活用にも取り組んでいます。

本中の武道場(修道館)は、産業道路側の正門からはいってすぐ左側にあります。1階が柔道場、2階が格闘技の剣道場となっています。

12月～1月は体育の授業で武道場を使うことが多く、冬休みがあるので、利用できる日が限られていますが、下表のとおりフィットネスプログラムを用意しました。

フィットネスジムで行われているとそん色のないプログラムを、気軽に体験する機会にしたいだければと認めます。

*参加費は1回500円です。現地で支払ってください。

*最新情報は、右のQRコードから確認してください。

*駐車場はありません。

*自転車は、テニスコートと同じ球技場の口のフェンス沿い(右図参照)に駐輪してください。

*上には停めないでください。



■12月と1月の予定(11月27日現在)

月	火	水	木	金	土	日
			1 1130～1220 ソフトエアロ	2	3	4
5	6 1400～1500 フィットネスフラ	7	8 1400～1500 ゆとりとうるおい のヨガ	9	10	11
12	13 1400～1500 ヨガで心と身体 をリフレッシュ	14	15 1400～1500 ソフトエアロ	16 1400～1500 やさしいヨガと呼 ば	17	18
19	20 1400～1500 ヨガ	21 1130～1220 ソフトエアロ 1400～1500 リンパマッサージ のヨガ	22 1130～1220 ヨガで心と身体 をリフレッシュ	23	24	25
1/9	10 1400～1500 やさしいヨガと呼 ば	11 1130～1220 ソフトエアロ	12 1130～1220 ヨガで心と身体 をリフレッシュ	13	14	15
16	17 1400～1500 ソフトエアロ	18 1130～1220 リンパマッサージ のヨガ	19 1400～1500 フィットネスフラ	20	21	22
23	24 1400～1500 フィットネスフラ	25 1130～1220 ソフトエアロ	26 1400～1500 ゆとりとうるおい のヨガ	27	28	29

【問合せ先】

本事業は、本太中学校とさいたま市教育委員会の協力を得て、浦和スポーツクラブが実施している

ものです。事業に関するお問い合わせは、浦和スポーツクラブまでお願いします。

電話 048-887-7140 FAX 048-677-7598 メール: info@urawasc.org

スポーツ振興と学校施設の利活用について

今回の事業は、国内のスポーツ施設の約6割を占める学校体育施設について、地域スポーツの場としての有効活用を推進するため、持続可能な仕組みのモデル事例を、実証実験を通じて構築することを目的として、スポーツ庁のモデル事業として行っています。

前号では、この国内のスポーツ施設の利用について紹介しましたが、今号では、市内中学校の開放状況や、学校施設の利活用事例について紹介いたします。

■そもそも25年前から国が提唱しています

学校の施設を地域で活用することについては、1997年の保健体育審議会答申『生涯にわたる心身の健康の保持増進のための今後の健康に関する教育及びスポーツの振興の在り方について』において、「今後の少子化の進行を考えると、学校の地域社会への開放の促進や、学校体育施設を拠点とした地域スポーツクラブの育成・定着化の促進が不可欠」と示しています。

■さいたま市の中学校施設の開放状況

数年前の市資料では、市内の57校施設開放状況は以下のとおりです。

	校庭	体育館	武道場
平日・休日とも	7	35	17
休日のみ	31	10	9
平日のみ	0	0	2
開放なし	19	12	29

市内中学校の校庭は、照明設備のある学校が少なく、平日の開放が進んでいません。体育館は平日も開放している学校が6割です（4割は開放していません）。市営体育館は満杯に近く、数も限られていて使いやすいわけではありません。

図は、さいたま市が公表している市営体育館の施設の利用率です。特に、浦和駒場体育館や大宮体育館、与野体育館などは、平日も休日もほぼ満杯なのがわかります。

皆さんが運動をしたいなど思っても、なかなか、施設が確保できない状況です。

広い市内に8つの体育館です。行くのが大変という方もいると思います。

数が多く、市内各地にまんべんなくある学校のスポーツ施設が活用できれば、皆さんがスポーツや運動をしやすくなると思います。

図表13【平成27年度 主要市内スポーツ施設の利用率】



（さいたま市・スポーツ施設の整備・運営に関する指針より）

■事例1：石川県かほく市・宇ノ気中学校の体育館

宇ノ気（うのけ）中学校の体育館は、平成19年度に、市営体育館兼ねる施設として整備されました。

学校の授業や部活動の利用が優先されますが、空いている時間は、市民が利用できます。地域スポーツクラブのクラブハウスが指定管理者となり、市民からの予約受け付けや、プログラム運営を行うことで、施設を有効に活用し、地域のスポーツ振興に貢献しています。



（学校への効果）

- ・従来の学校だけを使う体育館よりも施設が拡大・充実し、学校側にとっても活動の幅が広がる
- ・クラブハウスの人材が、部活動の外部指導者として支援。新たな種目も可能になる。

（地域への効果）

- ・クラブハウスの管理をすることで、教員の負担を増やさずに施設が有効に活用されている。
- ・クラブハウスの提点ができたことで、住民のスポーツ活動が充実、活性化
- ・学校向けと市民向けを別々につくりだすことで、財政的にも大きな効果があった。等

■事例2：県立浦和高校の施設を活用した星空スポーツ広場

浦和スポーツクラブでも、地域の皆さんのスポーツの場を構やすために、県と浦和高校と連携し、2007年12月から「星空スポーツ広場」を開催しています（2018年にスポーツ庁が作成したスポーツ推進アクションガイドで事例として紹介されました）。

- 日時 毎週土曜日・日曜日 19時半～21時
- * 学校行事等により予定は変わることがありますので、クラブのホームページで確認するか公式LINEに登録してお知らせを受け取ってください。
- 種目 グラウンド：サッカー（小4以上）

体育館：バドミントン（現在、卓球はお休みしています）

■参加費 100円～300円（種目や年齢による）

世帯主が声かけを行い、参加者の方と協力して運営しています。

いつもの時間にいつもの場所で開催することで、スポーツが生活の一部となることを目指しています。

星空スポーツ広場
見 0967-2316



【浦和スポーツクラブ】

- 1991年9月に設立し、今年で32年目を迎える市民クラブです。
- 浦和区東部地区を中心に、サッカー、テニス、フィットネスプログラムなど、幼児～90代まで全ての年代の人が、自分にあわせてスポーツや運動が気軽にできる場をつくることを目指して活動しています。

クラブのホームページは →



令和4年度スポーツ普及事業
 誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業
本太中学校みんなの学校づくり試行事業通信3号
 受託者：NPO法人浦和スポーツクラブ <https://urawasc.org/>
 浦和区榎家4-5-6 電話 048-887-7140 info@urawasc.org

■**本中のテニスコートが地域の皆さんに利用いただけます**
 10月から本太中のテニスコートを、地域の方に利用していただく実験を行ってききましたが、
実験期間は、2月17日まで終了します。

- あと半月、ぜひ皆さんもご利用ください。利用方法は、次のとおりです。
- 利用日：祝祭日や冬休み期間を除く月曜～金曜日
 (詳しくは、予約サイトで確認してください)
 - 利用時間：10時～12時
 - 利用面数：2面
 - 利用方法：



- 利用方法：
- その他：
- 利用料金は現地でスタッフに直接お支払いください。
- 貸しラケット・ボールの用意もありますので、コーチにご相談ください。
- 陸車場はありません。自動車から来た方は、周辺のコインパーキングを利用してください。学校内には駐車は、絶対にしてはいけません。
- 自転車は、テニスコートと同じ球技場の中のフェンス沿い（右図参照）に駐輪してください。
- 天候により利用できない場合もありますので、予約サイトで確認してください。



こちらの2面が利用できます。

自転車はフェンスの中に停めてください

■**武道場では、フィットネスプログラムに参加できます**

テニスコートと同様に、武道場の活用にも取り組んでいます。
 本中の武道場（修道館）は、産業道路側の正門からはいってすぐ左側にあります。1階が柔道場で稽古、2階が板張りの剣道場となっています。
 こちらも2月17日まで終了します。利用できる日が限られていますが、下表のとおりフィットネスプログラムを用意しました。

フィットネスジムで行われているのと遜色の無いプログラムを、気軽に体験する機会にしたいですねと思います。



- 参加費は1回500円です。現地で支払ってください。
- 最新情報は、右のQRコードから確認してください。
- 駐車場はありません。
- 自転車でお越しの方は、球技コート内のバスケットゴールのところに駐輪してください。道路の上には停めないでください。

■2月の予定

月	火	水	木	金	土	日
		1 1130～1220 ソフトエアロ	2 1400～1450 ヨガで心と身体をリフレッシュ	3	4	5
		1400～1450 リンパマッサージ				
6 1400～1450 美姿勢づくり	7 1400～1450 美姿勢トレーニング	8	9 1400～1450 ヨガで心と身体をリフレッシュ	10 1400～1450 初めてのバランスボールエクササイズ	11	12
13	14 1400～1450 ソフトエアロ	15	16	17 1130～1220 ゆとりとやるおいの三が	18	19

●**今年度の試行事業は、2月17日まで終了**することとなりました。

結果についてとまりとめ3月初旬にスポーツ庁に報告することとなります。
 そこで、皆様から本太中学校の施設の活用について、皆様からご意見をいただきたいと思います。
 下の二次元バーコードをスマホで読んでいただくと、アンケートサイトにつながりますので、今回、ご利用されなかった方も、ご意見をぜひお寄せください。事業の最終報告については、3月初旬にご報告させていただきます。



テニスコート利用者の方
 武道場利用者の方
 地域の皆様

【問合せ先】
 本事業は、本太中学校とさいたま市教育委員会の協力を得て、浦和スポーツクラブが実施しているものです。事業に関するお問い合わせは、浦和スポーツクラブまでお願いします。
 電話 048-887-7140 FAX 048-677-7598 メール：info@urawasc.org

部活動改革と学校施設の活用について

■中学校の部活動がなくなる！？

この1年、テレビのニュースや新聞で「中学校部活動改革」という言葉を耳たり、聞いたりされた方、少なくないと思います。情報が錯綜しているようなので、私たちがわかっている範囲で説明をさせていただきます。

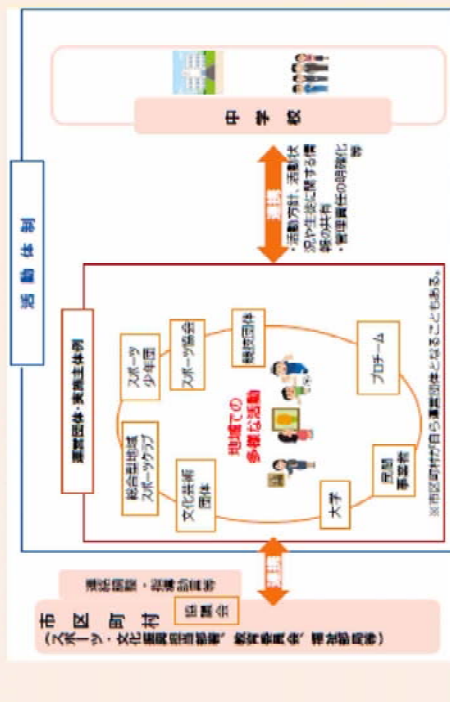
① スポーツ庁では、平成30年度に「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を公表し、練習過多による弊害を懸念した休業日の設定や、ハラスメントなどを無くするための適切な指導の徹底などを示しました。

② 昨年6月には、スポーツ庁の設置した有識者会議から「運動部活動の地域移行に関する提言」が発表されました。この中で、少子化で単独チームが組めない学校が全国的に増えたことや、学校の先生たちのサービス残業ともいえる働きによる部活動指導が限界を迎えてきたことなどにより、これまでの学校部活動制度の継続が困難であるため、「先生が顧問をする学校の活動から、地域のスポーツクラブとして活動していく」考え方が示されました。

この②の提言を受けて、まずは週末の部活動は、学校の先生ではなく、地域の指導者が指導し、将来的には平日の活動にも、学校の先生は関与しないこととする、いわゆる「部活動の地域移行」の取組みが話題になりました。

③ ①と②を踏まえて国が全体的な見直しを行った結果、昨年、12月27日に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が公表されました。この中で、「学校と連携して行う地域クラブ活動」という新しい姿が示されました。

地域の多様な組織や団体が連携、協力して新たな運営団体を設置し、地域の指導者（教職員の兼職業務を含む）が、学校の施設や公共のスポーツ施設など様々な場を利用して、可能な限り低廉な会費で運営をすることを目指すこととされています。



■学校施設活用と、どう関係するか

- 「地域クラブ活動」は、「地域の子ども達は、学校を含めた地域で育てる」という考え方をもとにすることが望まれています。
- 「地域で育てる」は、主に地域の指導者が技術を教えるということだけではなく、様々な場面で地域の大人たちが生徒と関わっていくことで実現されると考えます。
- 部活動改革では、指導者が教員から地域の人に替わるだけではなく、これまでの部活動では得られなかった「多世代の交流などの新しい魅力・価値」を加えていくことが望まれます。
- 国や自治体が「教員にやらせられなくなったら、地域の大人でお願いします」と、一方的に任せられるだけであってはならないと思います。それでは、一部の指導者だけが関わることで終わってしまいかねません。
- 「同じ場所で開催する」、「時には、一緒にプレイすることもある」など、子ども達と様々な交流が生まれることが、「子ども達を見守り、応援する、子ども達を地域で育てる」ことにつながるものと考えます。
- このように、子ども達と空間や時間を共有し、お互いに共感を得ていくためには、地域の大人たちももっと学校に関わる、すなわち、学校の施設で活動する時間を持つことが有効です。
- そのためには、地域の方々が、もっと学校の施設を使えるようにしていくことが必要です。そして、その際には、学校の先生の負担を増やさずに、地域のスポーツ団体が運用管理をしていくことが大切なことであると考えます。
- これからの日本社会では、健康寿命の延伸が重要なテーマになってきますが、そのためには日頃からスポーツや運動に親しむ人を増やすことが大切です。身近で気軽に運動ができる場がますます必要になっていきます。
- 地域の皆さんが誰でも知っている学校を、皆さんが運動やスポーツをする場にしていくことは、将来日本のためにもとても大切なことです。
- 幸い、さいたま市では人口が増加していますが、少子化がさらに加速し、子どもの数が減っていくても、学校施設は簡単に縮小・廃止はできません。せめてある施設を無駄にしないためにも、地域の方々による利活用は進めていくべきことです。
- 浦和スポーツクラブでは、このような考え方のもとに、今年度の試行事業に取組んでまいりました。学校施設の地域利用を促進することは、生徒にとっても、先生にとっても、地域の皆さんにとっても大きなメリットにつながります。



【浦和スポーツクラブ】

- 1991年9月に設立し、今年で32年目を迎える市民クラブです。
- 浦和区東部地区を中心に、サッカー、テニス、フィットネスプログラムなど、幼児～90代まで全ての年代の人が、自分にあわせてスポーツや運動が気軽にできる場をつくることを目指して活動しています。

クラブのホームページは ⇒



令和4年度スポーツ庁委託事業 2022年2月末日
誰かが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業
本太中学校みんなの学校づくり試行事業4号・結果報告
受託者：NPO法人浦和スポーツクラブ <https://urawasc.org/>
浦和区領家 4-5-6 電話 048-887-7140 info@urawasc.org

～試行事業は2月17日で終了しました～

10月下旬から始めた本太中のテニスコートと武道場の利活用試行は、2月17日で終了しましたので、結果についてご報告します。

【本事業について】

スポーツ庁が、国内のスポーツ施設の約6割を占める学校体育施設について、地域スポーツの場としての有効活用を推進するため、持続可能な仕組みのモデル事例を、実証実験を通じて構築することを目的として、全国から試行事業の企画を公募しました。

浦和スポーツクラブは、「本太中学校の武道場とテニスコートの活用」を提案し採択されました（全国で4事業が行われました）。

【事業の内容】

通常の学校施設の開放事業は、夜間に体育館や（照明施設のある）グラウンドなどを地域のスポーツ団体などに貸し出すものです。本太中では、月曜～日曜まで全ての曜日に体育館の夜間開放が行われています。（バレーボールやバスケットボール、バドミントンなどの団体が利用しています）

今回、ウラスボが提案したのは、「授業時間中にテニスコートと武道場を地域住民のスポーツの場として活用する」ことでした。

◆テニスコート：

- 午前10時～12時に産業道路側の2面を利用することになりました。（西側の住宅地への影響が小さくなるようにしました）
- 1面はクラブのコーチによるレッスン（千円/回）、もう1面はフリーで面貸し（500円/2時間）としました。

◆武道場：

- ヨガやエアロビクスなどのフィットネスプログラムを用意し、事前登録なしでも1回500円で参加できるようにしました。
- 冬でも利用できるように暖房器具（ストーブ）を設置しました（エアコンは工事が必要になるため今回は設置することができませんでした）
- 生徒と出入りが重ならないように、2時間続けて授業の無い時間に利用枠（この結果、午前2時・午後2時）を設けるようにしました（毎月末に学校から予定を教えてもらい、フィットネスのインストラクターのスケジュールを調整しました）。

その他：

- 毎月のプログラムの予定は、この設面でお伝えするとともに、専用の予約サイトをつくり、スマホから簡単に予定が確認でき、予約もできるようにしました。
- この通信は、約2万部を周辺地域にポスティングしました。また、本中の全校生徒にも配布しました。
- 生徒との連絡を避けるとともに、既設の駐輪場が満車にならないように、テニスコートや武道場を利用される方は、テニスコートのある補助グラウンドのネットの中（バスケットボールコートのある）に駐輪するようにしました。

【事業の結果】

◆テニスコート：

- ▶期間中平日は全部で76日あり、そのうち雨やコートの不良の日で利用できない日が17日ありました（利用できた日が約8割の59日）。
- ▶学校の都合で使えない日はありませんでした。
- ▶そのうち面貸し利用があったのが21回。利用可能日のうちの約1/3で使われました。
- ▶レッスンは52回開催し、合計194人が参加されました。
- ▶レッスンは利用可能日のうち約9割で実施しておりニーズの高さがうかがえました。

	平日 日数	利用可能 日数	面貸し日数	レッスン日数	レッスン 人数
10/20～	8	8（100%）	0	4	13
11月	17	14（82%）	7	13	45
12月	19	13（68%）	6	12	47
1月	19	14（73%）	6	13	47
～2/17	13	10（77%）	6	10	42
計	76	59（78%）	21（36%）	52（88%）	194

◆武道場：

- ▶午前2時、午後2時で、計304枠とありますが、実際に、利用可能になったのは、71枠と全体の2割程度でした。体育には武道の時間もあることから、思ったよりも少ない時間しか活用できないことがわかりました。
- ▶そのうち、実際にプログラムを準備できたのは、45枠と2/3となりました。インストラクターの方の予定も1月前でなかなか確保できませんでした。
- ▶参加者数も伸びず、全部で97人の参加となりました。参加者にとっても、定期的なプログラムにならないと参加しづらいことが伺えました。

	平日 日数	総枠数	貸し出し枠数	実際に 利用した枠	参加 人数
10/20～	8	32	8（25%）	6	4
11月	17	68	16（23%）	10	17
12月	19	76	14（18%）	9	27
1月	19	76	17（22%）	11	24
～2/17	13	52	16（31%）	9	25
計	76	304	71（23%）	45（63%）	97

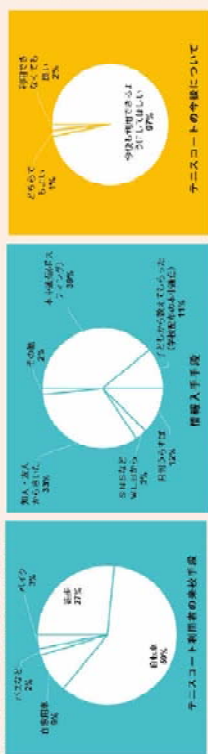
【問合せ先】

本事業は、本太中学校とさいたま市教育委員会の協力を得て、浦和スポーツクラブが実施してきたものです。事業に関するお問い合わせは、浦和スポーツクラブまでお願いいたします。

電話 048-887-7140 FAX 048-677-7598 メール：info@urawasc.org

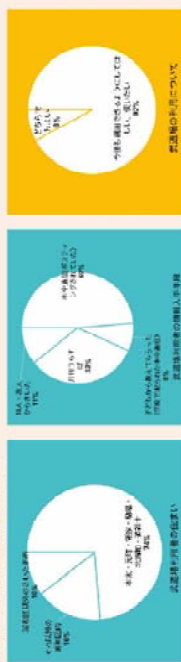
【利用者のご意見】

◆テニスコートを利用された方：



- ・ 本中の学区内の方が約 6 割で、自転車を利用された方が多いことがわかりました。
- ・ ボスティングで知った方が 4 割、知人・友人からが 3 割となりました。
- ・ 「今後利用できるようにしてほしい」というご意見が 97%と大半を占めました。
- ・ 「コートの状態が良くない」「休憩するベンチなどがほしい」といった、部活動とは異なり、大人の方々が友達とゆづりテニスを楽しむ視点ならではの課題があげられました。

◆武道場を利用された方：



- ・ 本中の学区内の方が 7 割以上で、自転車を利用された方が多いことがわかりました。
- ・ ボスティングで知った方が約 5 割、クラブの広報紙が 3 割となりました。
- ・ 「今後利用できるようにしてほしい」というご意見が 92%と大半を占めました。

◆自由意見

- ・ 子どもたちが利用していない時間帯などで有効利用できる大変素晴らしい取り組みだと思います。
- ・ ボスティングで知った方が約 5 割、クラブの広報紙が 3 割となりました。
- ・ 体を動かすきっかけが欲しいというご意見が約 5 割です。
- ・ 知らない方が多いので、認知されれば利用者も増えると思います。是非続けてほしいです。

【保護者の方のご意見】

全生徒に配布したお知らせで、保護者の方からのご意見を募ったところ 6 名の方からご意見をいただきました。

施設の有効活用や学校と地域の交流のために賛同するご意見と、生徒の活動が十分にできない中で大人が利用することには抵抗があるという、どちらかというと反対のご意見もありました。

(主なご意見)

- ・ 地域の高齢者が身近にしかも安価にスポーツを楽しめる場が少ない中で、このように施設を有効利用できることは良いことだと思います。
- ・ 地域住民と学生の直接の交流がなくとも、姿をお互いに目にするだけでも意義があると思う。
- ・ 生徒は部活動で夜道を帰るのに自転車や、体育館を使用できるのにも関わらず 1 回です。コロナが拡大すると部活動はとめられ、子どもたちはカマンガマンの生活をしているのに、大人が楽しめる場を作るのは何だか賛成できない。

【地域の方のご意見】

この通信で意見を募ったところ 8 名の方からご意見をいただきました。いくつかのご意見を紹介します。

- ・ 現在小学生の子供がいるが、多くの公園でボール遊びが禁止され、子供がボールを使った練習をするのに苦労しているので、中学校のグラウンドを使わせてもらえると嬉しい。
- ・ 身近な施設を開放してもらえると、空いた時間に気軽に利用できるのも、とても良い企画だと思いました。
- ・ 子どもたちの学校である学校で、平日に大人が楽しむのは抵抗があります。

【学校・教育委員会のご意見】

現在、集約中です。本通信の印刷・配布の日程の関係で記載できませんが、最終報告はクラブのホームページ等でお知らせしてまいります。

～浦和スポーツクラブとしての現時点のまとめ～

【本太中学校の施設利用について】

◆テニスコート

- ・ 校舎のある敷地からも離れており、授業でもほとんど利用しない使える時間が多い。
- ・ 利用調整の手間が少なく、学校側にはあまり負担がかからない。
- ・ コート表面の改善やベンチなどの設備の改善が望ましいが、これらは地域で利用し受益者負担で改修できる可能性も高い。
- ・ 予約方法など、管理の手間をできるだけ減らす工夫は必要だが、今後活用していくことができる施設だと考えています。

◆武道場

- ・ 授業や学内の各種活動で利用される時間も少なくないことから、地域で利用できる時間が少なく、定時性（曜日や時間が一定する）もないため、指導者も利用者も予定がたちらしい。
- ・ このため参加者も増えない。また、管理運営するスタッフも配置しづらい。
- ・ 運営コストは全く見合う状況ではない。また、利用調整のための学校側の負担も大きく、現状では武道場の利活用を進めることは難しい。

◆全体

- ・ テニスコートのように、クラブ（もしくは地域の協議会のような組織）を窓口として運用を図ることによって、学校側努力を軽減し、施設を有効活用していくことができることが示された。
- ・ 授業や部活動とは異なり、多様なニーズに応えるためには、従来とは違う環境整備も必要となる。これらの一部は受益者負担で行っていくと良い部分もあると考えます。
- ・ 本太中学校の校舎は築 50 年を超え、リフレッシュ工事なども考慮した施設・設備の整備を図っていくことが望ましい機会に、地域との交流や災害時のことなども考慮した施設・設備の整備を図っていくことが望ましいと思います。
- ・ クラブとしては、部活動の支援も見据えながら、学校や教育委員会と協議を継続し、学校と地域の交流や地域の皆さんの活動の充実に向けて取り組んでいきたいと考えています。

【浦和スポーツクラブ】

- ・ 1991 年 9 月に設立し、今年で 32 年目を迎える市民クラブです。
- ・ 浦和区東部地区を中心に、サッカー、テニス、フィットネスプログラムなど、幼児～90 代まで全ての年代の人が、自分に合わせたスポーツや運動が気軽にできる場をつくることを目指して活動しています。

クラブのホームページは ⇒



4. テニスコートの活用試行結果

4. 1 試行状況

(1) 利用方法

テニスコートは1面を面貸しとし、1日1組を先着で受け付けました。

利用料金は、市営のテニスコートの料金440円／2時間を勘案し、500円／回・面としました。

もう1面は、レッスン面として、クラブのテニス指導者によるレッスンを行うこととしました。最大8名まで、参加料は1人当たり1,000円としました。

どちらも予約システムに残数を表示するようにして、先着順としました。

レッスンは、原則として平日毎日実施したため、利用日においては、必ずコーチがテニスコートに配置されていたので、面貸し参加者の管理や集金とあわせて、当番となったテニスコーチが担当しました。

このような方法をとったのは、次のような考え方に基きます。

これまでの地域におけるテニスコートの活用の方法として次の3つを想定しました。

- A 公共施設では、面貸しをしているところが多い。市民が少人数のグループで予約等を行い抽選で確保して利用しています。
- B レッスンコーチが教室を運営していることもしばしば見かける。ウラスポでもコーチがついた教室を多数運営しており、それなりにニーズがあることがわかっています。
- C クラブとして会員がお金を出し合って維持し、会員が様々な形態で使用されているテニスコートもあります。

今回は、公共の施設をお借りして行う事業であり、将来的にも学校施設を特定のメンバーだけが利用するということは想定しづらいため、A、Bの2ケースについて試行することとしました。

(2) 利用結果

利用状況結果を下表に示します。実施期間中の平日は76日間。このうち、約8割にあたる59日が利用可能でした。

学校側都合による利用中止はなく、すべて天候によるものでした。

面貸しは、10月当初のPRが不足していた期間には利用者がいませんでしたが、11月からは、概ね半分程度の割合で利用がありました。全体としては、貸出可能日のうちの1/3が利用されました。

レッスンは、当初から希望者があり、約9割にあたる52日間実施、総計194名の参加を得ることができました。

面貸しは、2人程度のことが多かったため、概ね50名程度として、全体で延べ250名程度がテニスコートを利用したものと推察されます。

表 4.1 テニスコート利用状況

	平日日数	利用可能日数	面貸し日数	レッスン日数	レッスン人数
10/20～	8	8 (100%)	0	4	13
11月	17	14 (82%)	7	13	45
12月	19	13 (68%)	6	12	47
1月	19	14 (73%)	6	13	47
～2/3	13	10 (77%)	6	10	42
計	76	59 (78%)	21 (36%)	52 (88%)	194



写真 4.1 テニスコート利用状況

4. 2 評価

(1) 利用者アンケート調査結果

テニスコートを利用した 64 人の方にアンケートにご協力いただきました（延べ利用者は 250 人ほどですが、リーピーターも多いため、概ね半分程度の方にお答えいただけたのではないかと思います。詳細は、参考資料として巻末に示します）。

①利用者層

P T A の割合は 1/4 程度で、そのほかは学区内にお住まいの 30 代～40 代で本太中学校の P T A ではない方が多く利用されました。

来校手段は、自転車が最も多くなりました。

②情報収集手段

「地域にポスティングした広報誌」からと「友人・知人からきいた」が多くなりました。

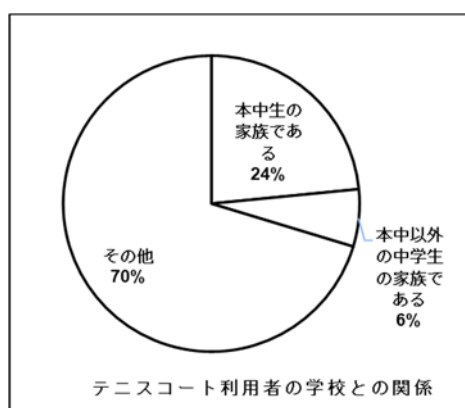


図 4.1 テニスコート利用者層

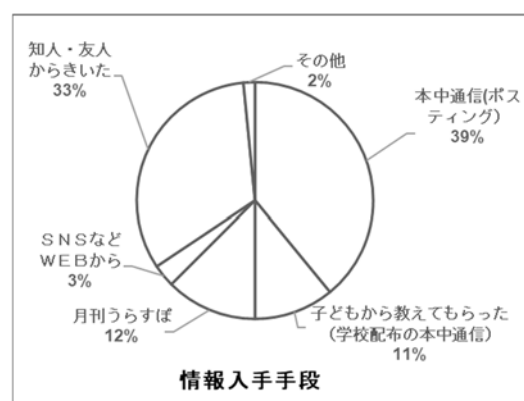


図 4.2 情報入手手段

③利用環境の評価

コートコンディションとトイレの評価があまり高くなかったようです。

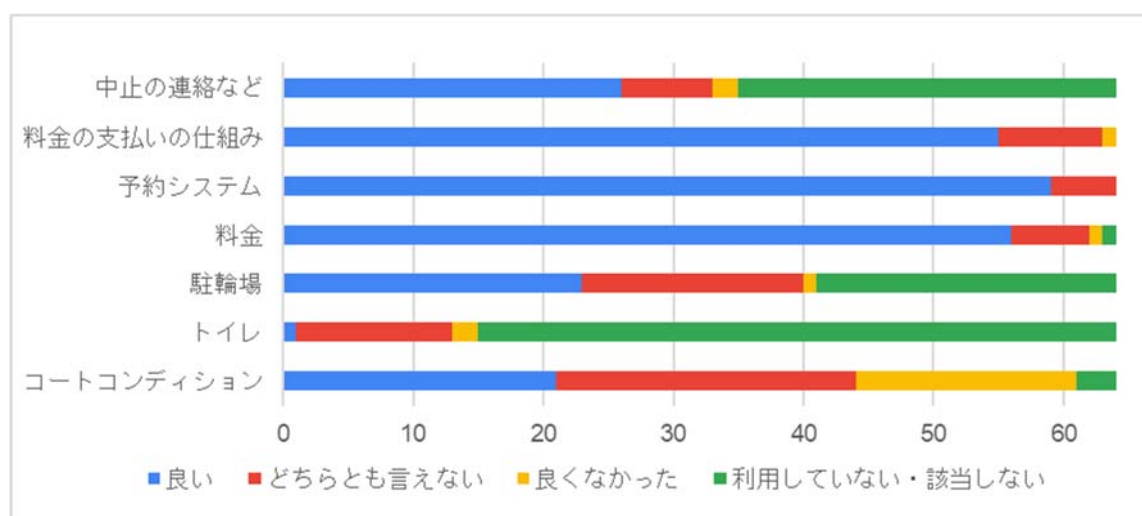


図 4.3 テニスコート利用環境の評価

④今後の継続について

今後については、継続して利用できるようになることを望む方が97%を示しました。

⑤自由ご意見

本太中学校のテニスコートは、校舎からも離れておることから、利活用を進めるべきだというご意見が多くみられました。

一方、ベンチや水道、トイレなど休憩などに用いる施設・設備の不備や質の低さを指摘する意見も見られました。

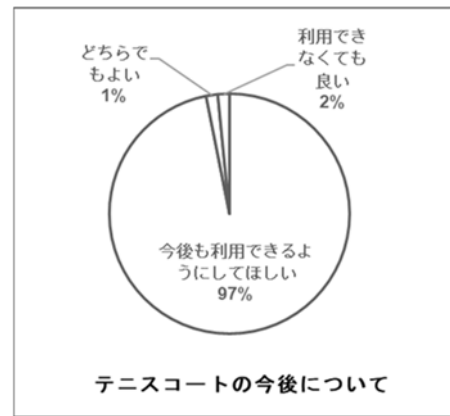


図 4.4 今後について

(2) 全体評価

①地域や生徒、学校運営への影響について

- 学校やクラブに地域からの苦情が寄せられることはありませんでした。
- 自治会などにも苦情の声があがったことはなかったようです(自治会長ヒアリング)。
- 学校管理側としても、利用調整の手間も少なく、問題はなかったとの認識でした。

②利用環境について

- ベンチの不備、トイレが遠いこと、コートサーフェスの荒れ、臨時駐輪場の出し入れのしにくさなど、参加のハードルを避けて多くの方が気持ちよく使うためには、改善すべき点がいくつかあることがわかりました。

③広報について

- 学区内にお住まいの方が多く、PTA以外の方が多かったという点で、情報周知は適切に行われたと考えています。
- SNSなどでもっと発信することを望む意見もアンケート結果などではでていますが、ウラスポとしては、あまり学校から離れた方ばかり増えても良くないと考えています。したがって、今回の利用者層を得るには、学区内の広報にとどめることが望ましいと考えました。

④運営・管理について

- 面貸しだけにすると、利用者が鍵の受領に事務室までうかがうことが必要になります。また管理者がいないと、コートの状況の判断などをするのも難しいので、現地に管理スタッフが必要なことがわかりました。
- レッスンを行うことで、コーチが常駐することとなるので、管理スタッフを兼ねることができ、コスト面でもメリットがあることがわかりました。

⑤収支について

- 今回は、初の試みで市営のコートなどくらべるとやや質が落ちることなども考慮

し、レッスン料金は1回1,000円としましたが、実際には、この金額ではコーチの指導フィーと保険やボール代などの種々の経費を賄うのがぎりぎりで、テニスコートの改修や部活動を応援するための費用などは捻出できません。

(試算例) レッスンに常に8名が参加して1年を通して安定して行えるとする

収入 38万4千円

$$1,000 \text{ 円/人} \cdot \text{回} \times 8 \text{ 人/回} \times 4 \text{ 回/月} \times 12 \text{ ヶ月/年} = 384,000 \text{ 円/年}$$

支出 38万円

謝金 $6,000 \text{ 円/回} \times 4 \text{ 回/月} \times 12 \text{ ヶ月/年} = 288,000 \text{ 円}$

その他経費

ボール、保険等 $10,000 \text{ 円/年} \cdot \text{人} \times 8 \text{ 人/年} = 80,000 \text{ 円} (*1)$

予約システム $5,000 \text{ 円/月} \times 12 \text{ ヶ月} \div 5 \text{ 種} = 12,000 \text{ 円} (*2)$

*1 ウラスポでのテニスプログラムの実績から、概ね会員1人あたりに係る経費(保険代、用具費、事務連絡費他)を算出しました。

*2 予約システムの無料プランは、月の予約件数が数十~100件程度までとされており、実用には堪えません。5,000円/月程度であれば実用できるプランが各社から出されているため、試算条件として設定しました

- ウラスポの定期プログラムのテニスのレッスンは、月額で約4~5千円で月3回の開催です。1回あたり1,300~1,500円で人数も10~12名と、今回の事業に比べて高めです。
- 今回の事業では、短期間での試行となることから、受け入れやすい金額として1,000円/回のレッスン料としましたが、この参加料では事業を継続・安定的に行うことはかなり難しいことがわかりました。

⑥今後に向けて

- クラブ側、学校側ともに活用に向けてあまり支障は無いとの考えでした。
- 市(教育委員会およびスポーツ振興課)では、ニーズがあることはわかったが、制度化に向けては市内での検討が不足しているので今後すすめていきたいとの考えでした。

5. 武道場の活用試行結果

5. 1 試行状況

(1) 利用方法

前述のとおり、クラブや地域で活動されているフィットネスプログラムの指導者に呼びかけて、プログラムを用意し、1回500円（ワンコイン）の参加費で参加者を募りました。

屋内スペースの利活用方法としては、このようなプログラム提供型の他に「貸館型」がありますが、活動内容の確認や参加者の把握が困難になることが懸念されたため、今回はプログラム提供型としました。

次のようなプログラムを実施しました。

- ・エアロビクス
- ・ソフトエアロ
- ・フィットネスフラダンス
- ・コアヨガ
- ・ゆとりとうるおいのヨガ
- ・リンパマッサージヨガ
- ・シニア健康教室
- ・美姿勢筋トレ
- ・パランスボールエクササイズ など

(2) 利用結果

利用状況の結果を下表に示します。

期間中の平日日数は76日間でした。前述したとおり、1日最大4枠の利用することができますので、全てが利用できると304枠となりますが、実際に利用可能となったのは71枠（全体の約2割）でした。

冬季になり武道の授業が増加したことや、学年集会などによる利用機会が増えたことが影響しました。このうち、実際にプログラムを用意できたのが45枠でした。

参加者数は、延べ97名と少なく、1回平均で2名の参加にとどまりました。

表 5.1 武道場利用状況

	平日日数	総枠数	貸し出し枠数	利用した枠	参加人数
10/20～	8	32	8 (25%)	6	4
11月	17	68	16 (23%)	10	17
12月	19	76	14 (18%)	9	27
1月	19	76	17 (22%)	11	24
～2/17	13	52	16 (31%)	9	25
計	76	304	71 (23%)	45 (63%)	97



写真 5.1 武道場でのプログラム実施状況



写真 5.2 スタッフ・インストラクターの控え室・用具置き場としてお借りした管理室

5. 2 評価

(1) 利用者アンケート調査結果

武道場のプログラムに参加された方 38 名にアンケートにご協力いただきました（延べ利用者は 94 人ですが、リーピーターも多いため、ほとんどの方にお答えいただけたのではないかと思います。詳細は、参考資料として巻末に示します）。

①利用者層

P T A の割合は 1 割程度と、テニスよりも少ない割合となりました。

利用者の年代としては 50～60 代が 2/3 を占め、テニスコートよりもやや高くなりました。これは、ウラスポのフィットネスプログラムの会員の年代分布に近く、そこからの口コミで参加された方が多いことが関係しているものと思われます。

来校手段は、自転車が多く 6 割を占めました。

②情報収集手段

「地域にポスティングした広報誌」からが約 5 割、次いで 3 割を「月刊うらすぽ」が占めています。

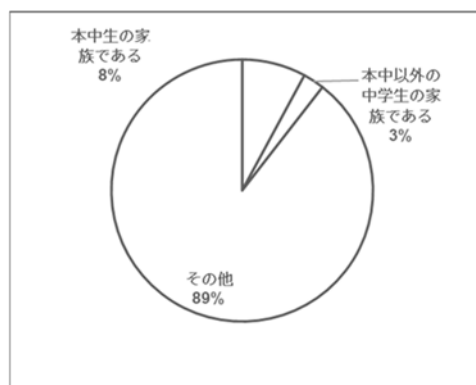


図 5.1 武道場利用者層

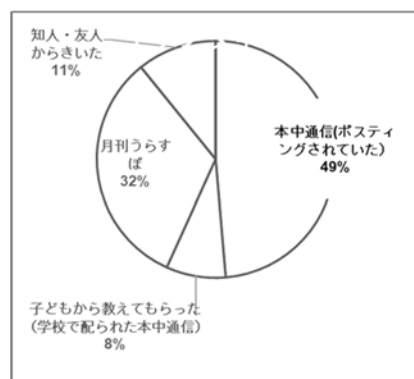


図 5.2 情報入手手段

③利用環境の評価

空調、トイレ、駐輪場の評価があまり高くなかったようです。

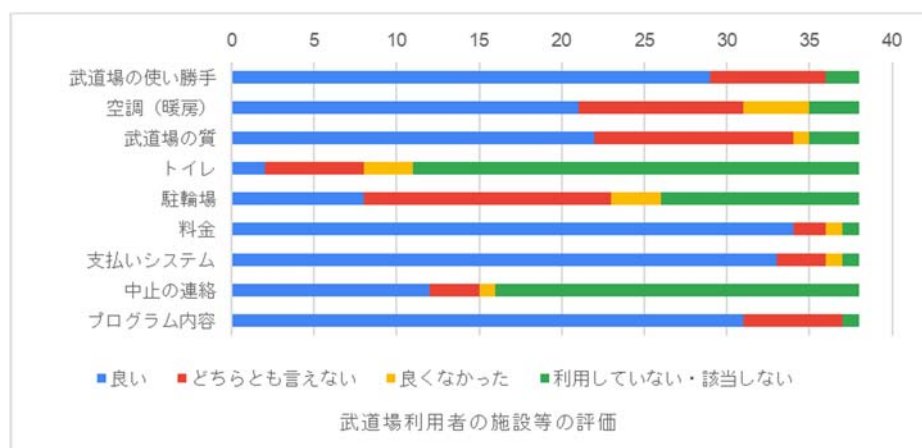


図 5.3 武道場利用環境の評価

④今後の継続について

今後については、継続して利用できるようになることを望む方が9割を超えました。

⑤各種のご意見

1)施設・設備について

駐輪場が離れていることや、施設の快適性が高くないことについてのご指摘がありました。

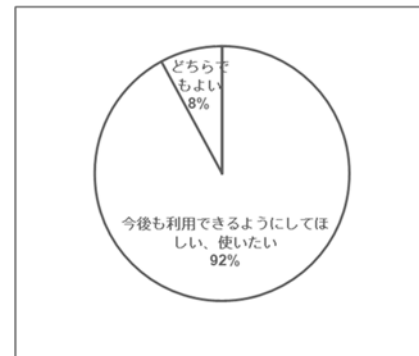


図 5.4 継続希望

2)広報・情報について

予定がわかるのが前月末では、スケジュールの確保が難しいことや、広報の方法として自治会などへの協力を求めると良いといったご意見がありました。

3)プログラムについて

午前中のプログラムを増やしてほしいというご意見がありました。

4)学校施設の利用について

学校の様子を知る良い機会にもなることや、学校と地域の交流機会が増えることについて、肯定的な意見が多くみられました。

(2) 全体評価

①地域や生徒、学校運営への影響について

- 学校やクラブに地域からの苦情が寄せられることはありませんでした。
- 全体の2割程度しか地域利用に用いられなかったことからわかるように学校側としては、授業やそのほか学内の利用ニーズとの調整が困難であったということでした。

②利用環境について

- トイレが同じ建物の中にあることや、職員用トイレをお借りすることへの遠慮などもあって評価は良くありませんでした。
- 冬季のために大型の石油ストーブを用意しましたが、コロナ対策のための換気も含めて快適な環境とすることは難しかったようです。
- 多様な利用を想定すると、暗幕や大型の鏡の整備などが必要となります。
- 自転車で来校される方が多いことから、地域利用を推進する際には、校舎側敷地内の駐輪スペースについて検討、整備が必要であると思います。(本事業では、武道場を利用される方にも、テニスコートの臨時駐輪場を利用いただきましたが、評価は高くありませんでした)

③広報について

- 学区内にお住まいの方が多く、広報の範囲としては概ね適切であったと思います。

- 武道場は月によって予定が変わることから、前月末の広報では予定が立てられないという意見が多くあり、もっと早くするべきだと考えます。
- SNS等による情報発信を主とすることで、ある程度の短期化を図ることは可能ですが、広報手段を変えても情報の発信時期は、現状では変更できないことから、予定の決定方法を変えなければ対応できない課題であると考えます。

④運営・管理について

- 企画当初は、利用できる枠が多数あると考えられたことから、スタッフの常駐も想定し、武道場の管理室をお借りして準備を進めてきましたが、実際の利用頻度が低くなったことから、プログラム実施時のみクラブのスタッフが運営支援に伺うことが必要になり、非効率な運営となりました。
- 管理室にクラブ事務所の分室を置くことも検討しましたが、出入りが室内側にしかないために、学校側利用時には、スタッフの出入りができなくなってしまうため常駐は困難であると判断しました。
- 前述のとおり、予定が一定しないためインストラクターの手配、スタッフの手配も課題となりました。
- 市民への運動機会の提供といった点からは、利用予定が長期的（数カ月前）に確保できなければ、利活用を進める上では難しいと考えます。

⑤収支について

- 参加費ワンレッスン・ワンコイン（500 円）は、施設のサービス水準や、試行事業であることも考慮して決めたものですが、民間で行われているフィットネスプログラムの体験が 1,000 円程度で行われていることから妥当であると考えます。これをもとに試算すると、最低でも 10 名の参加者がいなければ、直接の経費も不足することがわかります。

支出例）インストラクター謝金	4,000 円/回（業界の状況を参考に設定）
運営支援スタッフ	1,000 円/時（埼玉県最低賃金を参考に設定）
合計	1 回 5,000 円

- このほかにも広報や光熱費など種々の経費が掛かることから、1 回あたりの参加者が平均して 12～13 名程度は必要になります（ウラスポフィットネスプログラムの損益分岐点は約 14 名です）。参加料を高くすることは、現在の利用環境を考えると難しいと考えられ、また、スケジュールの確定時期が遅いことなどから、コンスタントに人数を集めることは難しいと思われます。
- また、運営スタッフの確保も難しくなります。

⑥「貸館」事業の可能性について

- 上記のように運営者側がプログラムを用意する方式と異なり、利用者（団体）が、自由に使用する方式とすることで、経費支出を抑えることができます。

- 本太中学校の近隣に浦和駒場体育館（市施設、指定管理方式で運営）があります。こちらの武道場の利用料金は、個人で 100 円/2 時間、占有する場合には、1,020 円/2 時間ですので、この場合でも管理スタッフの人件費にも不足することが予想されます。
- スタッフが学校に常駐し、本来業務があり、その合間に受付と確認作業だけを行うのであれば、このような運営方法とすることの可能性はありますが、単独の事業としては可能性がないものと考えます。

⑦今後に向けて

- クラブ側、学校側ともに、現状では武道場の活用を進めることは課題が多いものと考えていました。

6. 利活用の促進にむけた検討

6. 1 課題整理

(1) 当初設定課題について

当初設定した課題について、得られた結果を整理します。

特に大きな課題としては、授業等の利用頻度も低くない武道場の利用調整は、窓口となった教頭職にとって作業負担を生じるとともに、利用が制限されることで教職員の賛同も得難い状況があったようです。

また、利用環境という点では、トイレやベンチなどの周辺設備・施設についても学校の施設・設備は一般利用者にとっては質的に課題があることがわかりました。

表 6.1 課題と結果

課題	結果
学校側に新たな負担を生じないようにする	授業等で学校側が利用する武道場については、調整の負担がありました。
教職員や生徒に迷惑とならないようにする	時間や動線を分けることや、駐輪場を分けることで達成した。このため利用できる時間が少なくなりました、
近隣に迷惑をかけない	特に問題となりませんでした。
利用環境の改善	空調があれば利用できることは確認できました。 しかし、空調以外にもトイレや駐輪場、ベンチなど種々の課題があることがわかりました。
一部の団体だけの利用とならないようにする	広く地域に参加者を募ることで、多くの方々に利用してもらえることがわかりました。
教職員、PTA、生徒の理解醸成	武道場の利用については課題が残った。テニスコートについてはほぼ理解が得られたものと考えられます。
市民の理解醸成	丁寧な説明をしていくことで理解が得られたものと考えられます。

(2) 継続にむけて生じた課題

学校側に負担を生じないようにするためには、民間事業者・市民団体のいずれかでも新たな団体や協議会などの組織を作り、運営を行っていくことが必要です。

無償のボランティアスタッフが安定して集まる地域であれば運営スタッフの経費は生じないが、安定した運営を行っていくためには、一定の収入を得て収支がとれる仕組みを構築することが必要です。

このため、本事業の成果をもとに、収支の試算も行いましたが、安定した利用が見込めるテニスコートにおいても、一般の公営コートと同様の「面貸し」方式では収支がとれな

いことがわかりました。

このため、ある程度の収入を見込むことができる、教室運営などを行うとともに、管理コストを抑制することが必要です。

①テニスコートを恒常的に貸し出す仕組みの構築

市・教育委員会からは、施設の利用ニーズと可能性が高いことは理解できたが、制度化するまでには、行政内での検討が必要であるとの見解が示されました。

さいたま市では、学校施設開放は「さいたま市学校体育施設の開放に関する要綱」および「さいたま市学校体育施設開放事業実施要領」に定められていますが、ここでは平日は夜間を基本としており、その時間においては学校開放運営委員会の管理下にあるとしています。

このように、現状の学校施設開放は、平日の授業時間中の利用については想定されていません。

校長判断による施設利用の許可では、持続的な仕組みにはならず、制度化が必要となります。

②地域の新たなスポーツ資源としての位置づけの整理

上記の仕組みづくりにおいては「学校体育施設を市のスポーツ振興の中でどのように位置づけるか」の整理も必要と考えます。

学校体育施設の開放がさらに進むことになると、ある意味新たな公共スポーツ施設が生まれることとなります。

現在、さいたま市内の多くの公共スポーツ施設は団体への面貸し的な利用が多く、予約システムによる抽選方式がとられています。

図には、市内の公共スポーツ施設の利用状況を示しますが、平日においても多くの施設で 80～90%を超えており、「施設の予約が取れない」という意見をしばしば聞きます。

抽選倍率は平均でも 5 倍近いとも言われています。

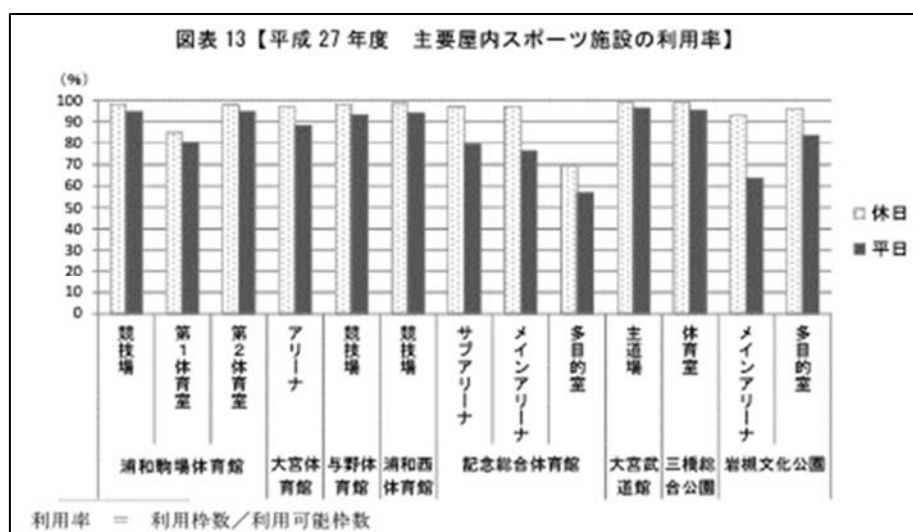


図 6.1 さいたま市の公共スポーツ施設の利用状況
(出典：さいたま市・スポーツ施設の整備・運営に関する指針)

このような状況下では、生活の中にスポーツを行う時間を取り込むことが困難なことが、今回の武道場の試行でも示されました。

ウラスポが県立浦和高校で行っている「星空スポーツ広場」においても対象者を隔週などで割り当てると、それまで熱心に参加していた若者たちが、とたんに参加しなくなっていくことを経験しています。これは、アルバイトなど他の用事をその時間帯に入れてしまうためですが、アルバイトなども隔週で都合よくはできない状況にあることが推察されます。

スポーツを生活の中に取り込んでいく Sport in life を進めていくためには、決まった時間に同じ場所でできるような環境も増やしていくことも必要であると考えます。

また、市の既存のスポーツ施設は、指定管理制度をとり、民間事業者に管理料を支払って運営されています。その一方で、学校施設の活用は、地域のクラブや協議会組織が市の負担がないまま、一般市民のためのサービス提供をしていくことは、大きな矛盾を抱えるものと思います。

これまでの学校施設開放の経緯なども踏まえつつ、近年特に大きな課題となっている部活動に関する学校と地域との連携なども考慮し、学校体育施設の社会における位置づけについて整理し、理解醸成をはかっていくことが必要と考えます。

③教室運営による収入確保における課題

収支検討で示したように、持続的な取組みとするためには、教室運営等による収入確保が必要です。公共施設を利用した参加費収入の徴収については、現状では明確な決まりがありません。

公共スポーツ施設では、営利事業（興行収入を得るイベントなど）では利用料金を高く設定している例が少なくありませんが、

- ・参加費やレッスン料を徴収している活動の扱い
- ・運営団体の形態

などについては、何も決まりがありません。

公共性の高い学校を利用した活動で参加費を徴収するのであれば、何らかの決まりをつくっていくことが必要と考えます。

④運営コストの低減化

テニスコートの状態確認や参加者の管理のためには、現地にスタッフがいることが望ましいと考えますが、そうすることで人件費が生じます。

また、予約のための仕組みも有料サイトを利用することで、コストが嵩むこともわかりました。

6. 2 促進策の提案

これまで整理した課題を踏まえ、本太中学校の施設活用を促進するための方策について提案します。

本太中学校は、数年内に大規模改修（リフレッシュ）事業の計画があります。

主には築年数が 50 年を迎える校舎と体育館が対象となると考えられますが、このような大規模改修事業は数十年に一度のことであることを考えると、次の 50 年の利用を考えた事業とすることが望まれます。

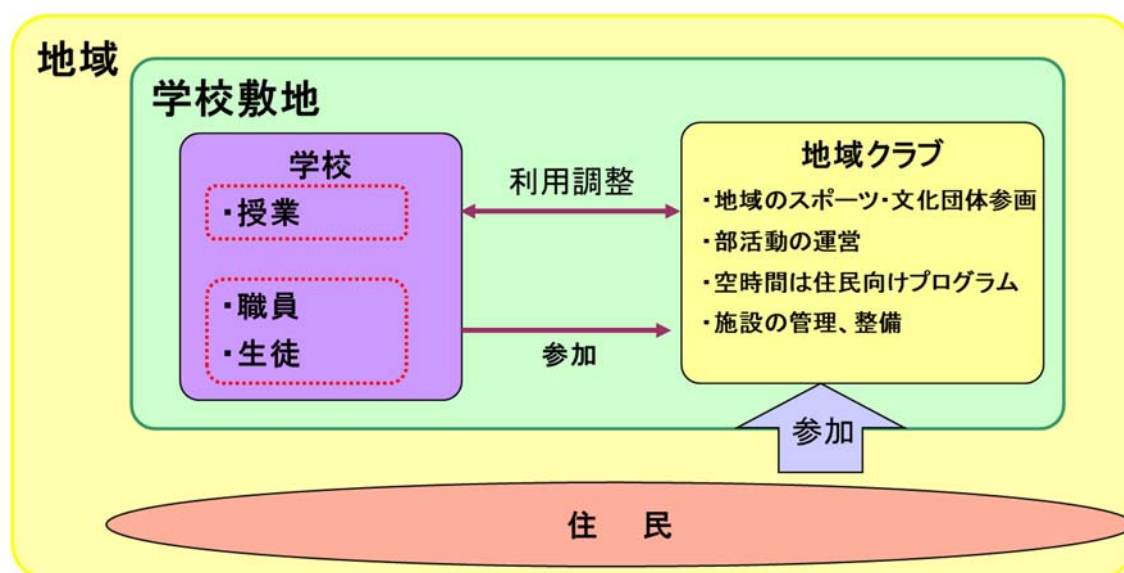
（１）少子化・部活動地域連携・地域交流を見据えた学校整備

令和 4 年 12 月に国が示した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を参考とし、中学生のスポーツ・文化活動の受け皿となる地域クラブ活動の運営母体として、地域クラブの設置を見据えます。

ここでは、子ども達の活動を支援するとともに、卒業後も生涯をととしてスポーツや文化活動を続けられる環境を整えるため、大人の活動も行う組織とし学校を拠点として活動していきます。

学校側の利用希望は地域クラブに伝え、地域クラブ側は学校の移行を最大限尊重しながらも効率的な施設活用・運営を担います。

このためには、本事業の経験から、地域クラブの事務局は学校敷地内にあることで学校との連携がスムーズになると同時に、施設利用時の管理コストを抑えることにつながります。



（２）武道場について

武道場の利用が進まなかった要因は、授業等による利用が以前よりも増えていることですが、実際には一階の柔道場と二階の剣道場の両方を同時に利用していることは多くありませんでした。

ただし、管理室も含めて入口が一カ所に集中しているために、一室を利用している間にはもう一室を利用しないようにしていました。

また、武道場については、トイレがないことも課題となっていました。

武道場以外に地域クラブの事務室が設置できるのであれば、武道場の管理室は通常の利用頻度も低いことも勘案し、バリアフリー対応も考慮したトイレに改修し、出入り口を室内とせず入口から直接アプローチできるようにすることを提案します。

また、2階の剣道場への出入り動線を増やすこと、冷暖房機器の設置などを提案します。

武道場の機能強化は、災害時の避難所としての機能強化につながります。特に、一階と二階を別動線で利用できるようにすることで、感染症対応や、傷病者の分離などにも機能することが期待できます。

（３）（仮称）地域協働エリアの整備

前述のとおり、地域の利用や部活動の地域移行の受け皿が機能していくためには、学校と連携しやすい環境を整えることが有効です。

事務所として利用できる部屋、トイレや更衣室なども備え、日常的に生徒が用いる出入り口とは別の出入り口を備えた地域協働エリアを整備することを提案します。

部活動の地域移行に際しては、指導者の確保の関係から活動時間が夜になる可能性も高いと思われます。

そのため、生徒の着替えや荷物の安全管理対策も必要になります。地域協働エリアの整備は、生徒の活動の支援にも効果が期待できます。

（４）駐輪場の整備

地域活動による利用を想定した駐輪場の容量を確保することを提案します・

（５）エリアマネジメントの考え方の導入

今回、武道場管理室を借りるために、行政財産目的外使用料を市に支払いました。

今後、活用を促進するためには、運営母体となる組織が学校内の施設を占有等する場合に使用料を取るのではなく、まちづくり等で行われているエリアマネジメントの仕組みを参考として、運営母体が学校施設を活用して事業を展開し、その収益を運営経費に充当可能とすることを提案します。

この際、運営母体は、公益性・公共性を理解し、学校と連携した地域スポーツクラブ等の運営にあたることを条件とすることを提案します。

7. まとめ

(1) テニスコートの活用について

- 授業で利用することがなく、敷地も校舎と離れているテニスコートを、地域で利用していくことには、大きな支障がないことがわかりました。
- 地域での利用ニーズもあり、ある程度の工夫をすることで、学校や行政への新たな負担を生じさせずに、学校に替わる運営組織として総合型地域スポーツクラブが受け皿となることで、継続的な活用が可能になることが示されました。

(2) 武道場の活用について

- 授業やそのほかの学校行事においても利用することが増えている武道場については、調整作業の負担増に加え、利用したい教職員からの理解を得ることが難しいことがわかりました。
- また、学校内では屋内の広いスペースとして貴重な施設で、複数の学級が集まる必要がある場合や、雨天時の体育授業など臨時的な需要も少なくないことがわかりました。
-

(3) 学校施設の整備水準について

- スポーツ施設そのものだけではなく、トイレや更衣室、休憩のためのベンチなど、利用環境の水準は低く、利用者からの評価は高くないことがわかりました。
- スポーツ実施率を高めていくためには、このような環境の改善も進めていくことが必要と考えます。
- 災害時の避難拠点としても期待される施設であることから、今後の改修工事などにあわせてグレードを高めていくべきだと考えます。

(4) 運営団体の拠点について

- 教職員の負担を増やさず、学校との連携・調整を円滑に進めるとともに、施設の状態や利用者の管理を行うためには、運営母体の拠点は学内にあることが望ましいと考えられました。

(5) スポーツ庁事業で行った意義について

- これまで実施してきた中学校との連携は、顧問とクラブ、中学校とクラブの関係にとどまっていました。今回、スポーツ庁事業として行うことで、市のスポーツ振興課、教育委員会、(公財)スポーツ協会なども全体会議に参加し、取り組みについて情報を共有するとともに、それぞれの立場での意見や認識について相互理解を持つ機会をつくれたことは大きな意義があったものと考えます。

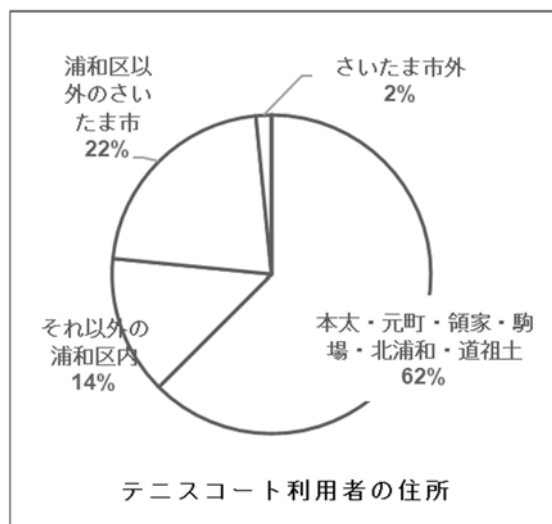
(資料) アンケート結果

1. テニスコート利用者アンケート結果

問1 お住まいはどちらですか

住所	人
本太・元町・領家・駒場・北浦和・道祖土	40
それ以外の浦和区内	9
浦和区以外のさいたま市	14
さいたま市外	1

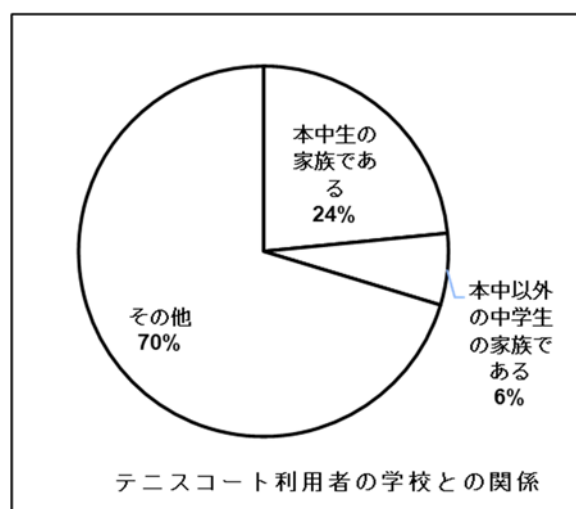
- 回答者の約6割が学区の範囲にお住まいでした



問2 本太中学生のご家族ですか

	人
本中生の家族である	15
本中以外の中学生の家族である	4
その他	45

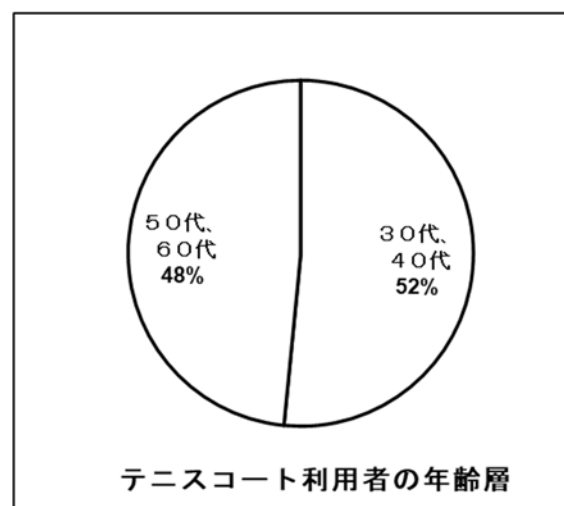
- 本中生のご家族は2割程度だけでした。



問3 あなたはおいくつですか

	人
10代、20代	0
30代、40代	33
50代、60代	31
70代以上	0

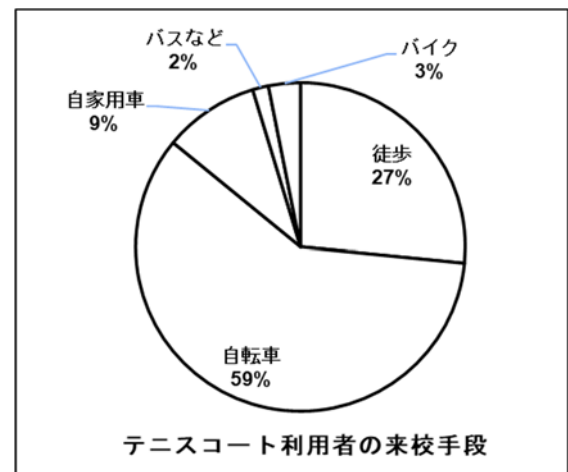
- 30～40代、50～60代がほぼ半分以上でした



問 4 何で来られましたか

	人
徒歩	17
自転車	38
自家用車	6
バスなど	1
バイク	2

- およそ 6 割の方が自転車を利用していました。



問 5 何人で利用されましたか

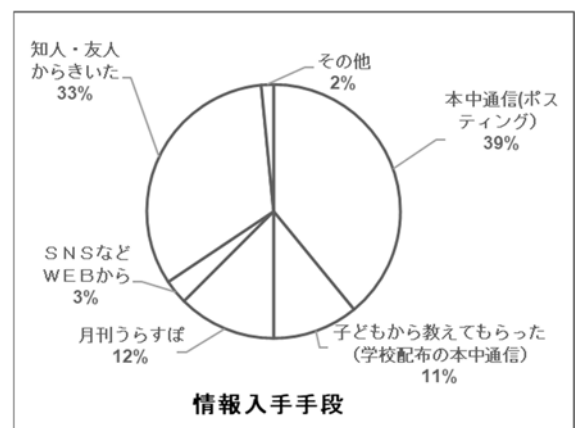
- レッソンは一人で申し込まれた方が 8 割となりました。

	人
1 人	48
2 人	14
3 人	1
4 人	1

問 6 情報入手手段

	人
本中通信(ポスティング)	25
子どもから教えてもらった (学校配布の本中通信)	7
月刊うらすば	8
SNSなどWEBから	2
知人・友人からきいた	21
その他	1

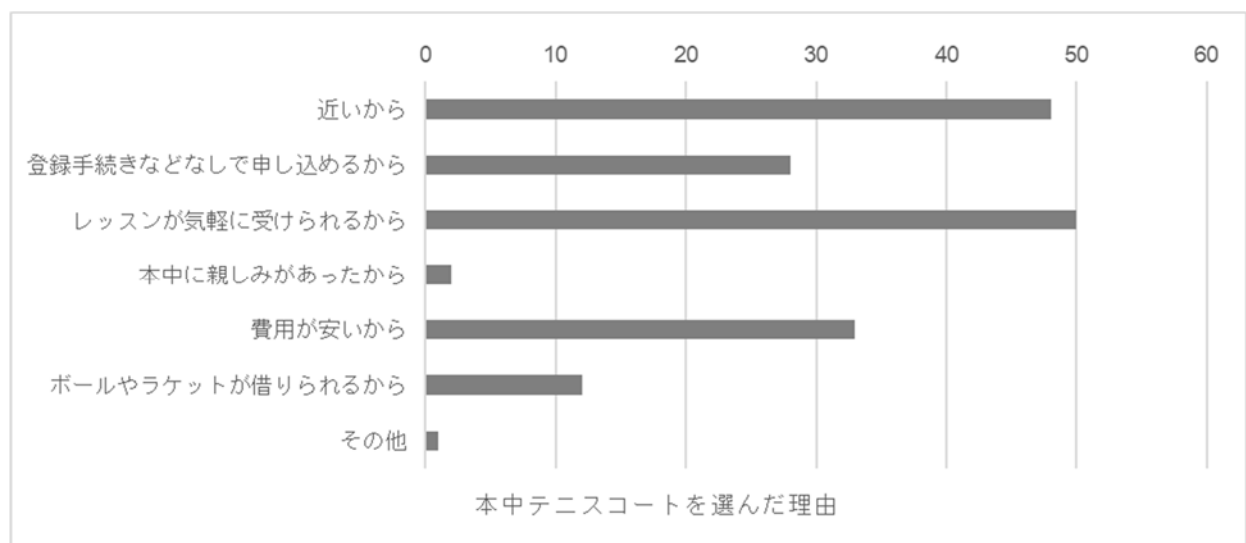
- 「ポスティングのお知らせ」と、「知人・友人から聞いた」がそれぞれ 4 割弱となりました。



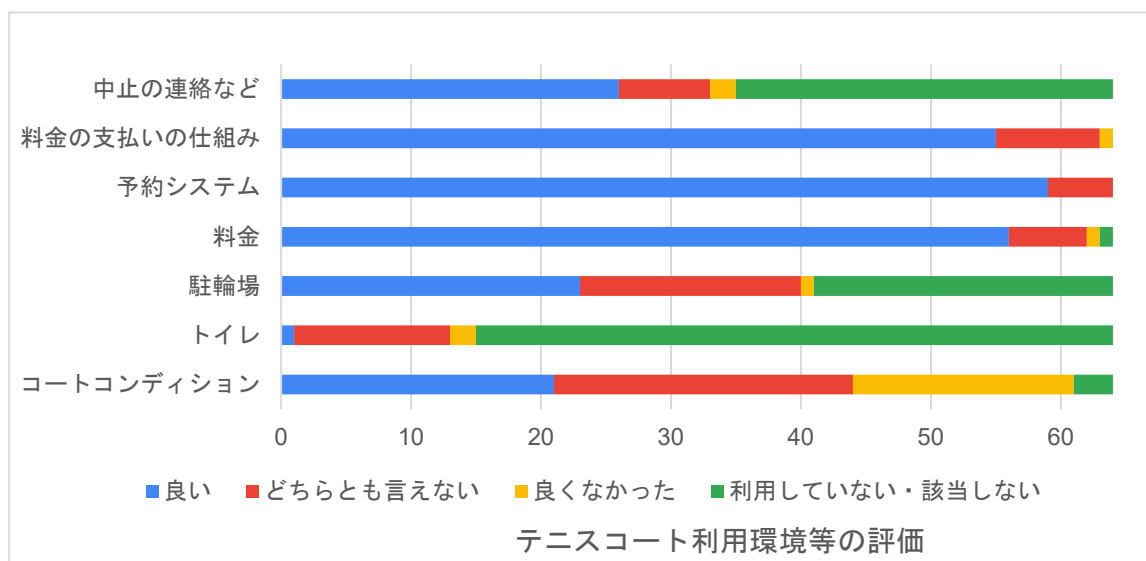
問 7 本中を選んだ理由について

	人
近いから	48
登録手続きなどなしで申し込めるから	28
レッスンが気軽に受けられるから	50
本中に親しみがあったから	2
費用が安いから	33
ボールやラケットが借りられるから	12
その他	1

- 「近いから」「レッスンが気軽に受けられるから」を回答者の8割以上が選びました。
- 費用の安さや、手続きの簡単さも多くの人が選んでいました。



問 8 利用環境の評価

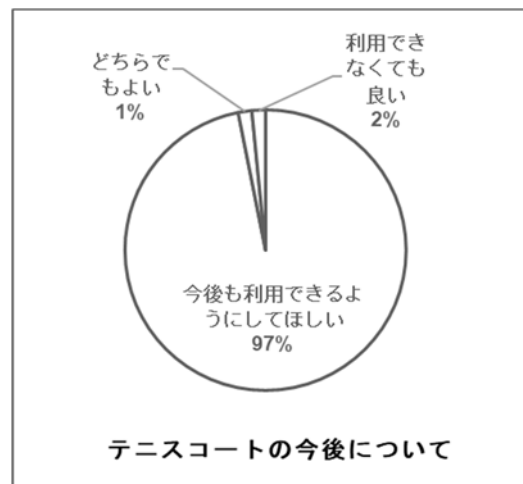


- コートコンディションの評価は高くなかったことがわかります。

問 9 今後について

	人
今後も利用できるようにしてほしい	62
どちらでもよい	1
利用できなくても良い	1

- 95%を超える方が、今後も利用できることを期待されていました。



問 10 改善点・要望について

<好意的な意見>

- 特にありません。気軽に利用出来て素晴らしい事業だと思う
- 無いです、とてもありがたい施策です。
- 大変素晴らしく、ぜひともこのまま継続していただきたい。他のテニススクールでは、日程的にも金銭的にも継続困難です。各コーチも親切かつ丁寧なご指導で大変有り難く思います。尚、平均して週一度利用させていただいており、健康増進やリフレッシュに大きな効果があることを実感しております。
- 土日にも空いている時間帯は使えるようにしてほしい。

<コートコンディションに関する意見>

- コートの状況。歪んでいるので土を足してほしい
- コート整備の充実
- コートに凹凸があり、テニスが楽しめない。このコートで練習しなくてはならない生徒が可哀想。
- テニスコートをもう少し良い状態にしてほしい
- コート状況が今のままでは料金少し高いかなあ？

<レッスンなどに関する意見>

- テニスレッスンは初級からとなっていたが初心者も居たので、できればレベルを分けて実施してほしい
- テニスレッスンを受けました。全くの初心者だと大変だと思いました。
- レッスンわかりやすく良かったです。
- レッスンをレベルごとに分けた方が良い
- レッスンスケジュールが、2ヵ月先まで分かると仕事の都合をつけやすく、参加しやすいと感じた
- 参加者のレベルがザックリでも事前に分かるとありがたいなと思います。
- ボールは貸し出ししていなかったのがボールの貸し出しをされるとよい。

<広報・周知について>

- 知らない方も多いので、周知し続ければ認知されて利用者が増えると思います。
- 私は娘からお手紙をもらってこの事業を知りましたが、周りに聞いたところ、ほとんどの方がご存知なかったです(特に男の子のご家庭)。周知さえしっかりされていたら、もっとたくさんの方が利用していたと思います。
- 周知活動が少ないと思います。中学生がいる訳ではないので、テニス仲間から教えてもらえたので良かったです。市報とかに掲載ではなかったので、テニスレッスンがあるという事を知ることが難しいなと思います。貸しコートは、コンディションが良くないので、もう少し安くした方が良いと思います。

<貸出時間等についての意見>

- コート使用中止の連絡を1時間前までに実施していただきたい。
- 申込み受付時間をもう少し延長して欲しい
- 遠方の為、中止の連絡を早めに欲しいです
- 現行時間帯 10時～12時を9時～11時にしてほしい。

<その他>

- 軟式テニス専用ではなく、硬式兼用のコートであると良かった。
- 駐車場が確保されればもっと嬉しいです。

問 13 学校施設の利用についてご意見をお聞かせください

<推進賛成の意見>

- 良いと思います。
- 空いているなら、使わせてもらえてありがたい
- 子どもたちが利用していない時間帯なので有効利用でき大変素晴らしい取り組みだと思います。体を動かすきっかけが欲しかったので大変楽しかったです。正直知らないの方が圧倒的に多いので、認知されれば利用者も増えると思います。是非続けてほしいです。
- お手頃な価格で利用出来るので、有難い。定期的にまた開催してほしい。
- 空いている時間帯に近隣住民が利用出来るのはとてもいいアイデアだと思う
- 空き活用推進希望
- とてもいいと思います。浦和はテニス人口が多いのにコートを借りられる場所がなく、またレッスンもとても高い中でこのような機会に感謝しています。なかなか仕事などで利用回数は増やせませんでしたが広く知られれば他の方々もニーズはあると思います。
- 学校（本中に限らず）の近くを通る時に、テニスコートが空いているのをよく目にしていて、地域に開放してくれたらいいのになあといつも思っていました。学校側も条件設定等難しい部分もあるかとは思いますが、今回のモデル事業は自分にとってはも

のすごく有り難かったです。これからも存続頂けることを強く希望しています！

- 本太中学校のテニスコートは校舎から離れていたのも、気兼ねなく使用できました
- 近場で利用できるのも助かります
- こういった有効活用はとても素晴らしいと思います。住民としても、行政側からこういった施策を積極的にご提案頂ける事はとても嬉しくまた頼もしく思いますので今後も積極的にトライして頂きたいです。
- 市営のレッスンやコート抽選は、倍率高くてなかなか抽選に当たらない。学校施設を利用させてもらえるならとてもありがたいと思う。
- 特に問題なく使わせていただいておりますので、とても良いと思います。利用後に皆でコート整備をすることも良い習慣となっています。
- 良い活動だと思う
- 久しぶりに子どもが通っていた学校に戻り、懐かしかったのも、いいことだと思う
- 昼間使われていない施設を有効利用できるのはありがたいです。
- 立派なテニスコートがあるので、今後も利用出来ると嬉しいです。
- 学校側に迷惑のかからない、或いは何らかの利点になる利用状況であるのであれば、コートレッスンを継続していただきたい。
- 施設を貸出すことにより、子供達も地域の方々との繋がりを感じるのではないのでしょうか。また、立派な施設があるので、健康促進として使うことはとても意義のあることだと思います。
- 市営のテニスコートは一月以上前から抽選予約が必要であり急に使用する事が出来ないため、気軽に利用できるテニスコートを増やすために学校施設を一般開放するのは良いことと思うから
- とてもいい企画です。テニスレッスン続けてください。
- 空いた時間での活用はとても良いと感じました。
- 本太中のテニスコートの様に、生徒の視界に入らず使用できるのであれば、大いに一般に使用させてほしい。
- とても良いことだと思います。健康に歳をとっていくのに運動はかせません。
- 中学生が使用していない時に、利用出来るのはとても良いと思いました。
- 気軽にテニスレッスンに参加できて、非常に良かったので、また是非開催をお願いします！
- 子どもたちが利用していない時間帯を利用するという事なので非常に有効利用できると思います。登録も申込みも簡単に利用できて、運動が出来るのはありがたかったです。是非この取り組みを続けていただきたいです。よろしくお願いします。
- 地域に公開する事で、見守りにもつながり、空き施設を利用することは地域貢献にもなると思うので、ぜひ続けて欲しい。
- 使用していない時間帯に利用できるのはありがたいですし、本太中への親しみがわきました。

<環境改善を望む意見>

- システムは良いと思うが、ベンチや荷物が置ける場所など最低限の設備はあって欲し

い。

- クレーなので、コンディション良くして欲しい

<その他>

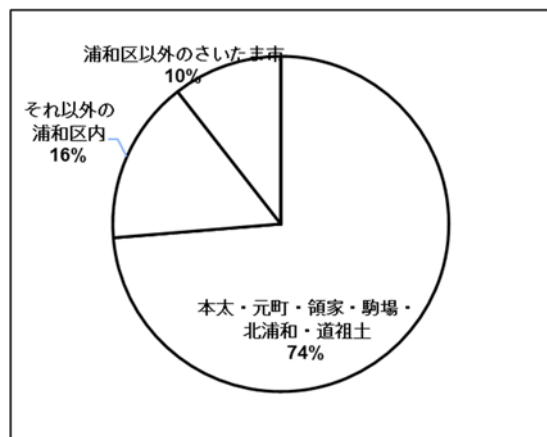
- 針ヶ谷小学校のグラウンドや体育館は無料で利用できるのに本太中テニスコートは有料なのか？運営者(浦和ＳＣ)に支払っているのですね。
- 子供がキャッチボールをできる場所を開放して欲しい

2. 武道場利用者アンケート結果

問1 お住まいはどちらですか

住所	人
本太・元町・領家・駒場・北浦和・道祖土	28
それ以外の浦和区内	6
浦和区以外のさいたま市	4
さいたま市外	0

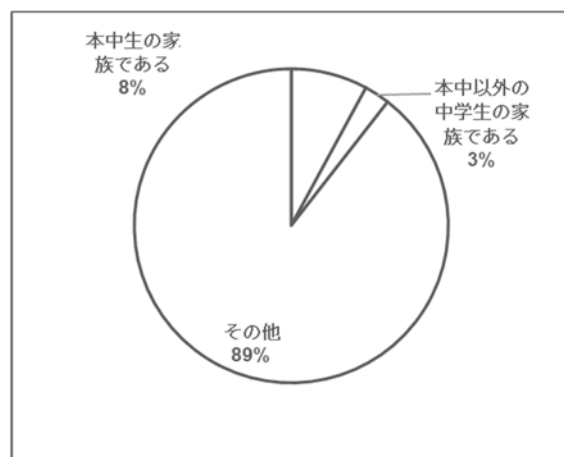
- 回答者の約7割強が学区の範囲にお住まいでした



問2 本太中学生のご家族ですか

	人
本中生の家族である	3
本中以外の中学生の家族である	1
その他	34

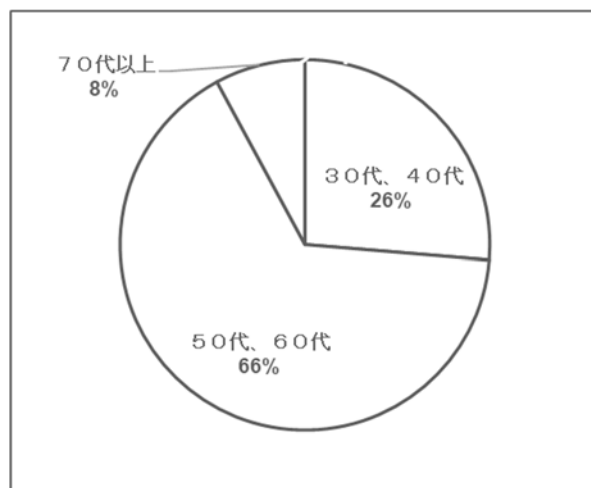
- 本中生のご家族の参加は1割以下でした。



問3 あなたはおいくつですか

	人
10代、20代	0
30代、40代	10
50代、60代	25
70代以上	3

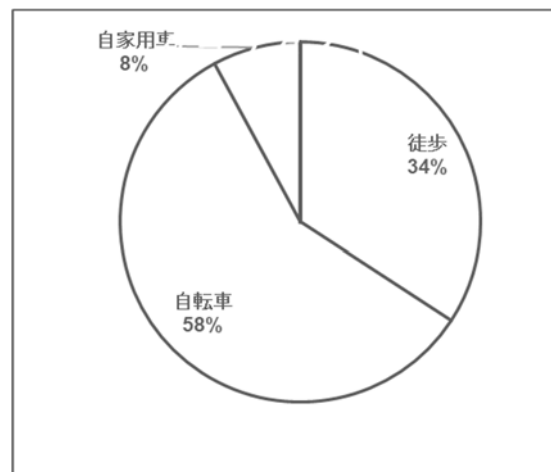
- 50～60代が2/3を占めました。



問 4 何で来られましたか

	人
徒歩	13
自転車	22
自家用車	3
バスなど	0
バイク	0

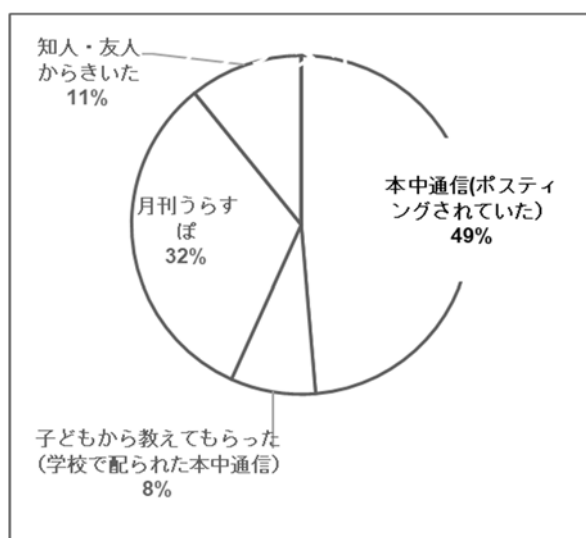
- およそ 6 割の方が自転車を利用されていました。



問 5 情報入手手段

	人
本中通信(ポスティング)	18
子どもから教えてもらった (学校配布の本中通信)	3
月刊うらすぽ	12
SNSなどWEBから	0
知人・友人からきいた	4
その他	0

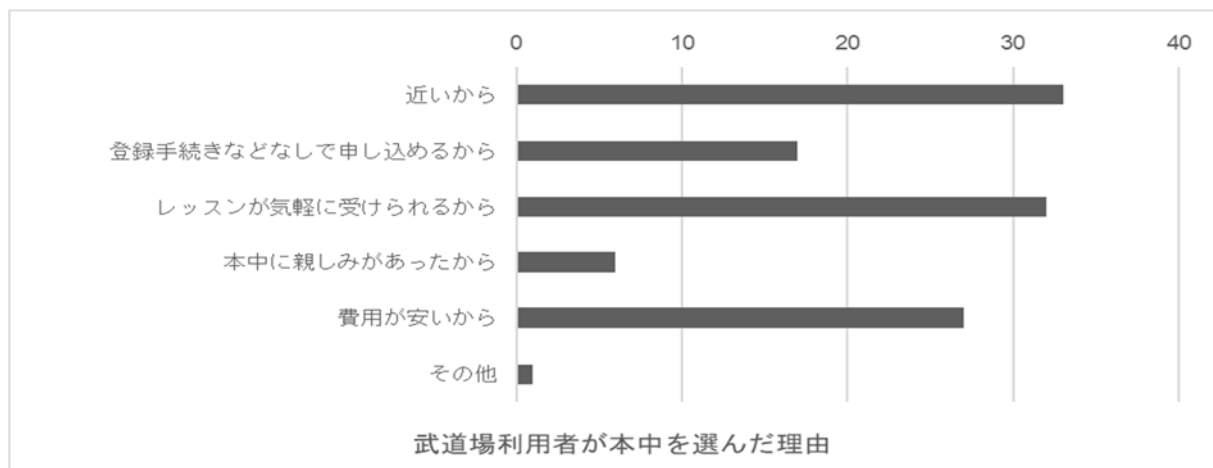
- 「ポスティング」が約 5 割、クラブの通信「月刊うらすぽ」が 3 割となりました。



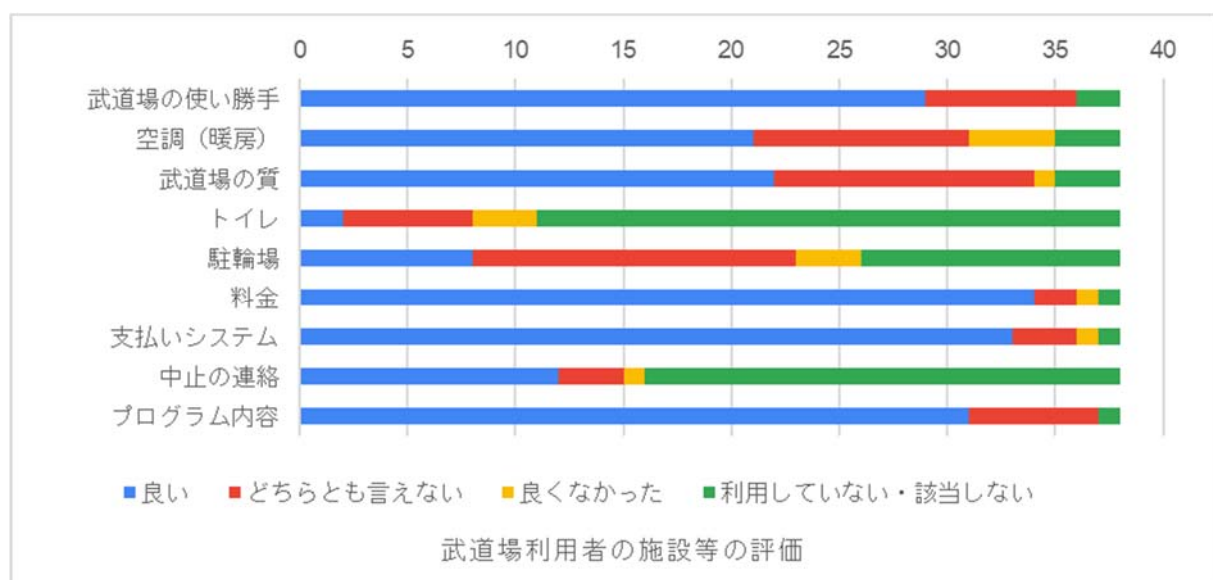
問 6 本中を選んだ理由について

	人
近いから	33
登録手続きなどなしで申し込めるから	17
レッスンが気軽に受けられるから	32
本中に親しみがあったから	6
費用が安いから	27
その他	1

- 「近いから」「レッスンが気軽に受けられるから」を回答者の 9 割以上が選びました。
- 費用の安さや、手続きの簡単さも多くの人が選んでいました。



問 7 利用環境の評価

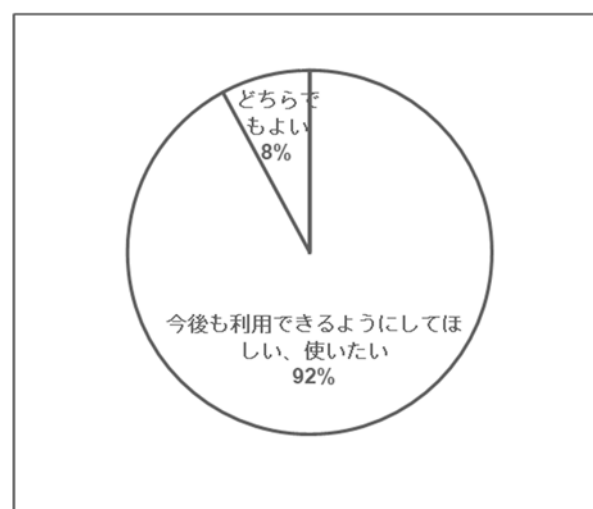


- 空調、暖房、駐輪場について評価は高くなかったことがわかります。

問 8 今後について

	人
今後も利用できるようにしてほしい	35
どちらでもよい	3
利用できなくても良い	0

- 95%を超える方が、今後も利用できることを期待されていました。



問 9 改善点・要望について

<施設・設備について>

- もう少し大きい鏡があると嬉しい
- ダンスなので鏡が大きいといいです。
- 1度、コロナのせいか、ドアは開けっぱなしで、寒かった。
- トイレが室内にないこと。個人的には自宅からすぐなので不便は感じませんが。
- 自転車を、出し入れしやすいといいですね。
- 駐輪場が使いづらいと思いました
- 武道場が隙間風、埃、髪の毛等不衛生。床に横にならないといけない時は不愉快

<広報・情報について>

- 講座の存在を知らない人が多いと思います。認知度をあげてより多くの参加者が来れば活気が出ると思う。
- 早めに予定が出ると嬉しい。翌月の予定が出るのが遅いので、仕事が入ってしまい通えない。
- ポスティングが遅かった 日程が、わからなかった
- 自治会の回覧板で知らせたら良いと思います。
- もっと大勢の人が使うと良いのに、認知度が低い。
- 利用人数が少ないのは先生に申し訳ないと思ってしまいます。
- 広報を改善すべき 10月からやっていると気がつかなかった。
- 今回は、日程を知るのが遅かった。
- ポスティングだけでなく、ウェブからもスケジュールが分かりやすいと更によいと思う。
- 初めてチラシを見たのが2月だったので、もっと早く知っていればたくさん利用できたと思います。メールでの告知が欲しい。

<プログラムについて>

- 時間帯が午前もあると利用しやすかった
- 午前中のプログラムを増やしてほしいです

<その他>

- 講師がここ以外(自宅、勤務先)でも指導している情報もほしい。

問 10 学校施設の利用について

<肯定的ご意見>

- 良い事だと思う
- とてもいいと思います。出来れば、これからも続けて欲しいと思います。
- 地域に開放するのは良い事だと思う。
- 今後子どもを進学させる時にどんな雰囲気か知れることで親しみや安心感が湧く
- 大変良いことだと思う。

- いいことだと思います。
- 是非、このまま、この企画を続けて欲しいです
- とても、良い企画だと思います。
- 積極的に利用すべきだと思う
- とてもよい案だと思います、テニスなどもしてみたい
- これからも利用出来るようにしてもらいたい。
- 安心して使用でき、安くて便利。
- 不定期でも、期間限定でもいいので続けて欲しいです。冷暖房の費用がネックであれば、春と秋だけでも開催してもらえれば次回も参加したいです。
- 空いている時間を利用して運動出来るので、とても良い試みだと思います。
- 今まで利用したことはありませんが、自宅より近いうえ費用も手頃なので、機会があればぜひ利用したいと思います。ぜひ継続をお願いいたします。
- 学生が使用しない時間帯に有効利用できるのがいい。関係者以外の出入りがあるので学生、学校関係者、保護者の方達の不安感などなければいいなと思います。利用者としては今後も継続されたら嬉しいです。
- 気楽に参加できて楽しかったです！ただ2月になって初めて知ったので、告知を学校メールでいただけるとありがたいです。新年度も続けて欲しいです。
- 空きスペースを一般に貸し出すことは良いと思います
- 素晴らしいと思う
- とても良い、プロジェクトだと思います。
- 空いている時間、活用できるのは良いと思います
- 使用していない時間帯であれば、地域の方のためにどんどん活用すべきだと思います。

<地域との交流>

- 地域の方の利用が増えれば、子供達の見守りにも繋がるし、どんどん施設利用すべきだと思います。
- 地域との交流に役立つと思うし、せっかくある施設を生徒たちが使わない時間に開放することはムダにならなくて良い事だと思います。もっと認知度を高めて沢山の人が利用するようになれば良いと思います。来年度もぜひ継続してほしいです。
- 地域と学校が連携するきっかけになると思います
- 地域貢献にもなると思うので、ぜひ活用したほうがよいと思う。学校利用することで、不審者抑制など見守り活動にも繋がると感じます。
- 地域と学校で関わりがあったほうが良いと思う
- 地域との交流は大切だと思う

<その他>

- 武道館が直ぐにはわからなかったです。

3. 地域の方からのご意見

【意見収集方法】

- 地域に約 2 万部ポスティングしている、本事業の通信や、クラブの広報誌、ホームページ、フェイスブックでアンケートの実施をPRした結果、8 名の方からご意見をいただきました。

【回答】

問 1 お住まいはどちらですか

住所	人数
駒場 1 丁目	1
領家 1 丁目	1
領家 3 丁目	2
上記以外の駒場・領家・元町・本太。北浦和・道祖土	1
その他	3

問 2 本太中学生のご家族ですか

関係	人数
本中生の家族	2
その他の中学生の家族	0
その他	6

問 3 おいくつですか

年代	人数
10 代・20 代	0
30 代・40 代	7
50 代・60 代	1
70 代以上	0

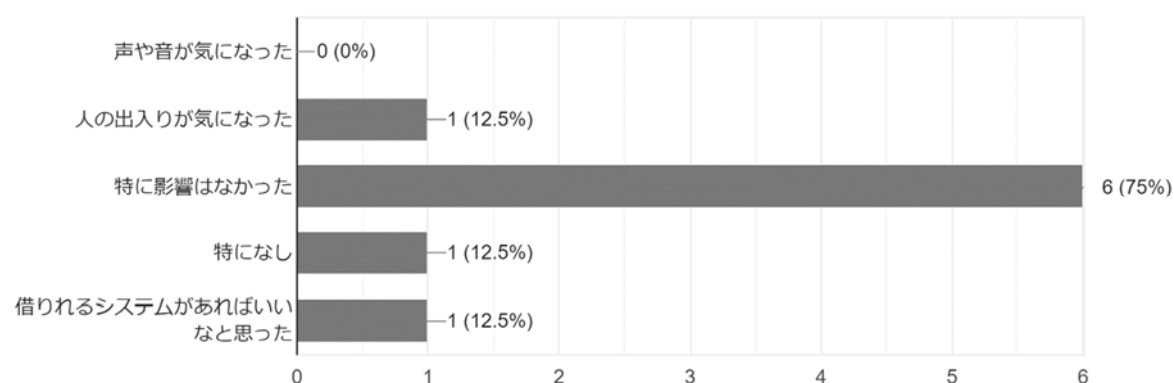
問 4 今回の試行事業について何で知りましたか？

情報源	人数
ポスティングされた広報誌	7
学校で配られた広報誌	0
月刊うらすば	0
知人・友人から	1

問 5 テニスコートや武道場を利用しようと思いましたが

利用意思	人数
利用したいと思わなかった	2
利用したいと思ったが、日程が合わなかった	5
利用したいと思ったが、参加したいプログラムがなかった	0
利用したいと思ったが、お金がかかるからしなかった	0
無回答	1

問 6 今回の事業は、あなたにとって何か影響はありましたか（複数回答可）



その他：近場の駒場体育館や公民館は予約がとりづらく、安価で学校の体育館が借りられるなら是非借りたいです

問 7 学校施設の地域による利用について

回答	人数
もっと使えるようになると良い	6
これまでと同程度で良い	1
どちらとも言えない	1
あまり利用すべきではない	0
利用できないようにするべきだ	0

- 近場の駒場体育館や公民館は予約がとりづらく、安価で学校の体育館が借りられるなら是非借りたいです
- 子どもたちの学舎である学校で、平日に大人が楽しむのは抵抗があります。
- 今のままで十分に感じるから
- 現在小学生の子供がいるが、多くの公園でボール遊びが禁止され、子供がボールを使った練習をするのに苦労しているので。
- 有効利用のため
- 近場の体育館や公民館は予約がとりづらい

問 8 あなたは中学校の施設を利用したいと思ったことはありますか

回答	人数
ある	5
ない	3

- テニスコートを利用したい
- グラウンドを小学生が使えると良いなと思いました
- 体育館

問 9 あなたは中学校の施設を地域の人が利用しやすくするためには、どのような仕組みができればよいと思いますか

- この活用事業が画期的で良いと思います
- 市民プールが北浦和東口にないので、温水プールがあれば活用したい。
- ネット予約
- Twitter 等での周知もあれば広い年代の人が利用するようになると思います。
武道場などがどこにあるかの詳しい説明があると利用しやすくなると思います。

問 10 学校施設の利活用についてご提案やご意見

- この活用事業が画期的で良いと思います
- 市民プールが北浦和東口にないので、温水プールがあれば活用したい。
- ネット予約
- Twitter 等での周知もあれば広い年代の人が利用するようになると思います。
- 武道場などがどこにあるかの詳しい説明があると利用しやすくなると思います。
- 身近な施設を開放してもらえると、空いた時間に気軽に利用できるのも、とても良い企画だと思いました。
- 本太中の生徒は部活動で校庭を使うのにも順番ですし、体育館を使用できるのも週に 1 回です。コロナが増え出すと部活動はとめられ、子どもたちは我慢の生活をしているのに、大人が楽しめる場を作るのは何だか賛成できません。
- 本太中には女子サッカー部がないようなので、女子中学生でサッカー好きな女の子が中学生でサッカーを辞めないように受け皿を作ってほしい。
- 道祖土の教育センター跡地を早く市民のための施設にしてほしい。市民のための温水プールやジムを作ってほしい。
- ボールが自由に使える場所がほしい。

4. 保護者の方からのご意見

【意見収集方法】

- 全校生徒に配布した本事業の通信にて保護者の方向けにご意見を募った結果、6 名の方からご意見をいただきました。

【回答】

問 1 何年生の保護者ですか

回答	人数
1 年生	3
2 年生	2
3 年生	1

問 2 授業時間中にテニスコートを地域の方々が利用することについて

回答	人数
問題はないと思う	5
どちらとも言えない	1
利用しない方が良い	0

問 3 授業時間中に武道場を地域の方々が利用することについて

回答	人数
問題はないと思う	5
どちらとも言えない	1
利用しない方が良い	0

< 肯定的ご意見 >

- 地域の高齢者が身近にしかも安価にスポーツを楽しめる場が少ない中で、このように施設を有効利用できることは良いことだと思う。時には体育の授業なども一緒に活動できたら、更に交流も深まるのではないかな。
- 武道場の利用はしてないので、その点はわかりませんが、テニスコートを利用させてもらいました。
- 他校では類を見ない程の立派なテニスコートです。また、生徒が立ち入らない立地であり、空き時間を利用することは素敵なことだと思います。健康第一なので皆さんに運動する機会の場として、是非とも活用を続けて欲しいです。
- 地域住民と学生の直接の交流がなくとも、姿をお互いに目にするだけでも意義があると思うから。
- 場所が空いている時間に有効活用ができると思う

＜否定的ご意見＞

- 子どもの学び場である学校に大人が入り込みすぎるのには抵抗があります。

問 4 本中の施設を、地域の方々が利用することについて、あなたの考えに近いもの

回答	人数
他の施設も、もっと利活用を進めてよいと思う	2
授業時間外であれば、もっと利活用を進めてよいと思う	3
いずれの施設も、授業時間中はさけるべきだと思う	1

- 学校は子どもたちの学舎であるため
- このような場は一部で実施するのではなく、地域全体で取り組むことで、スポーツをする環境が公平に整っているということになる。より多くのベースを作ることにより、スポーツを身近に感じることができないのではないか。
- 子どもたちも地域の方々の連携をとって、生活しているというのを実感出来るいい機会なのではないでしょうか。
- 地域との繋がりは大切であると考えてる為

問 5 あなたはこの事業でテニスコートや武道場を利用されましたか

回答	人数
テニスコートを利用した	2
武道場を利用した	0
どちらも利用しなかった	4

問 6 他に利活用を進めると良いと思う施設があれば教えてください

- プール

問 7 本事業に関するご意見がございましたらお教えてください

- 部活動など地域移行していくにあたり、少子化の影響等(単独チームが作れずに合同チームになるなど)で様々な場で活動することになった場合、子供達の移動手段も必要になると思われる。その点も含めた上で検討をしていただけると有難い。
- 2 月の中旬で終了となり、大変残念です。初めてテニスをしてみて、とても充実しました。この先も続けていきたいので、この事業が継続できることを望みます。
- 今後も是非継続して欲しいです

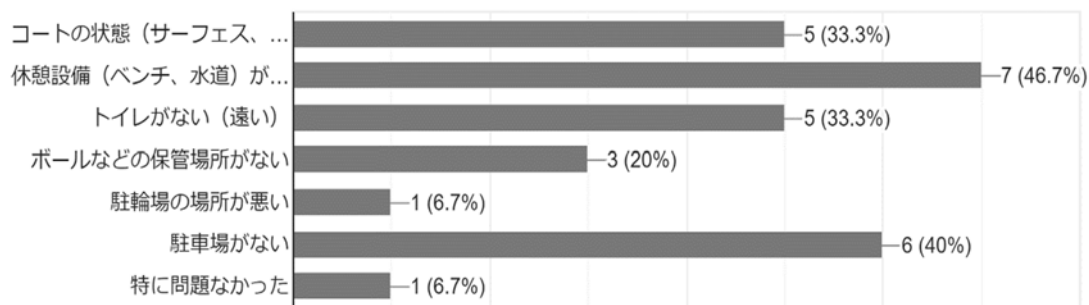
5. コーチ・インストラクターからのご意見

テニスコーチ9名、フィットネスインストラクター6名からの意見は次のとおりです。

(1) テニスコートの環境についての課題

課題として特に意見が多く出されたのは、次のようなことでした。

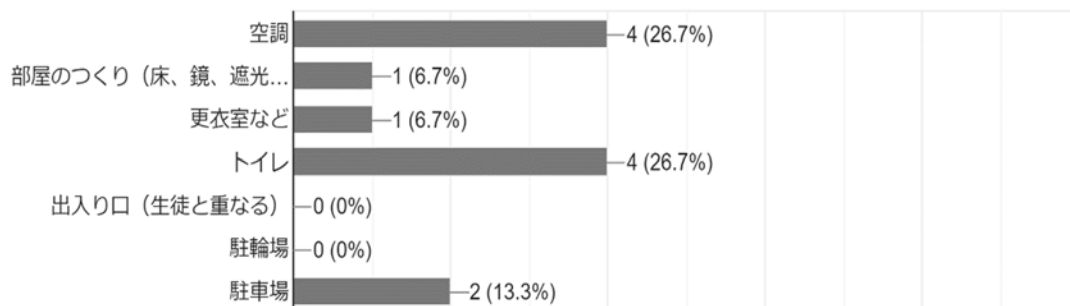
- ・テニスコートのサーフェイスの状態
- ・ベンチがないので、参加者が休憩時間にくつろげない
- ・トイレがない
- ・駐車場がない（指導者は荷物が多くなるため）



(2) 武道場の環境についての課題

課題として特に意見が多く出されたのは、以下のようなことでした。

- ・空調
今回は主に冬季だったので暖房器具をいれたが、石油ストーブは臭いが気になる
感染予防対策として扉をあけておいたが、場所によっては寒くなってしまう
- ・トイレ
同じ建物に無いのは使いづらい
- ・駐車場
指導者は荷物が多くなるため車を使いたい（バランスボールなど）



(3) 快適に安全に利用するための課題やご意見

- 荷物を置く為のベンチが欲しい
- 中学校なので、安全面に問題は感じませんでした。
- やはりコートのサーフェイスの状態が一番気になった。
- 改修後のメンテナンス費用等の知識はありませんが、現状のクレーコートでは使用

に制限が多いので、人工芝コートになると良い。

- 御手洗が柔道場に無く外まで行くのが不便というお声があった。
- 柔道場の掃除がしづらかったのでクイックルワイパー等があればありがたかった。
- 冬期はストーブのお陰で助かったが、やはり寒いと感じる方もいらしたようだ。
- 高齢の参加者もいらっしゃるので、会場内に安心して利用できるトイレは必要だと思います。
- 空調、備品の充実
- 新しい施設を作ることが可能でしたら、夏は冷房、冬は暖房が必要です。換気も適度に出来るよう、大きくなくていいので、開け閉めしやすい窓があるといいと思います。
- 高齢者の方が利用しやすいよう、バリアフリーや、トイレと更衣室が施設内にあると更に良いと思います。
- いろいろな部活動でも利用できるように、公民館の多目的室や体育室をイメージすると良いのではないかと思います。(学校の体育館よりは小規模で、舞台は無くてもいいと思います)(椅子や机も用意できると、いろいろな講座をすることが可能だと思います)
- 汚れ、埃が目立ちました。
- 期間中は時間前にヒーターなどの暖房をつけておいて頂きとても助かりましたが、寒さ暑さ対策、必要だと思います。

(4) 利用方法に関する意見、アイデア

- 学校開放委員会の 1 つとして、午前の開放もしてもらえたら、「この曜日は、〇〇のサークルが使う。」と言う事は出来ないのでしょうか？そうすると、学校側にもそんなにお手数をかけずにコートの使用も出来るのではないのでしょうか。
- 楽しんで頂いたので、これからもテニスを、続けて頂ければと思っています。
- 毎日受け付けるのではなく、グループで決まった時間や曜日に使えれば良いと思います。
- システム等には詳しくないので、今回の利用方法で問題なく良かったと思います。
- 参加する方も不安なく入室でき、先生、生徒学校関係各位にも周知できると思うので、会場付近(外)に、もう少し大きくはっきりと当日のプログラム名時間、主催者等の案内の提示があると良かったと思いました。
- サークル、イベントを定期的に開催する。積極的に使ってもらえるようにわかりやすい案内を出す(インターネット、掲示板、地域の施設)
- 人数がある程度固定するまでは、申し込み制にしてはいかがでしょうか。
- もう少し早めの告知、案内
- チラシの効果はどうしても思ったより少ないので、来てくださった方の口コミで広がっていく事に期待出来るのではないかと思います。そうなるともう少し長期間の企画の方が沢山の方に利用して頂ける様になるのではないかと思います。

(5) その他気が付いたことなど

- 担当する曜日のレッスンに、本太中 PTA の方が多く 参加されました。初めてテニスをされたとの事で した。
- 取りまとめは大変だと思う。
- 最後にいらした方が「つい最近このプログラムの事を知ったのに終わりで残念」と仰っていた。周知の難しさを感じた。
- 鍵を借りる時の事務所の方の対応が良かったので、気持ち良く使わせていただきました。
- テニスコートと、球技コートの間にボールが散らからないためのフェンスがあると良いと思います。
- 書類とか当日取りに行くことが難しく、日にちに余裕が欲しいです。
- 男女問わず色々な年代の方にいらして頂きました。これからも何か身体を動かすきっかけになれば良いと感じた。私にも良い経験となった。どうもありがとうございました。
- 生徒たちの授業中という時間帯では、保護者の参加を促すことは、保護者の心情的に難しいのではないかと感じました。
- イベントを定期的で開催すると施設にきて利用してもらうきっかけになるのではないのでしょうか。
- 今回はトイレの問題がありましたが、高齢者の方々が近くで気軽に運動できる場所を探していると思います。近所の公民館や高齢者の集まる施設などに、PR のチラシなどを置いていただくことはできるでしょうか
- 学校の保護者の方々は、共働きが多いと思うので平日の昼間は、なかなか難しいのではないかと思います。
- 武道場にトイレが付いていればもっと安心して身体を動かせるのではないかと思います。

発行日：令和５年３月

事業名：令和４年度スポーツ庁委託事業

誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業
（学校体育施設の有効活用推進事業）

副題：みんなの学校づくり試行事業

～地域の力を呼び起こす多世代のスポーツ参加の場づくり～
（本太中学校のテニスコートと武道場の活用試行結果より）

受託者：NPO法人浦和スポーツクラブ

住所 さいたま市浦和区領家 4-5-6

メール info@urawasc.org

- * 本報告書は、スポーツ庁委託事業として NPO 法人浦和スポーツクラブが本太中学校のテニスコートと武道場の活用試行結果をとりまとめたものです。
従って、本報告書の複製、転載、引用等には、スポーツ庁の承認手続きが必要です。

